

那 珂 82

— 那珂遺跡群第174次調査の報告 —

2020

福岡市教育委員会

那珂 82

- 那珂遺跡群第 174 次調査の報告 -



遺跡路号 NAK-174
遺跡調査番号 1816

2020

福岡市教育委員会

序

福岡市は玄界灘を介して大陸・半島と一衣帶水の関係にあり、古代より双方の交流が絶え間なくおこなわれてきました。近年の著しい都市化により失われるこれらの文化財を後世に伝えることは、本市の重要な責務です。

本書は、杭撤去工事に伴う那珂遺跡群第174次発掘調査について報告するものです。この調査では掘立柱建物や溝などの遺構を検出するとともに、古代から中世を中心とした遺物が出土しました。これらは地域の歴史の解明のためにも重要な資料となるものです。今後、本書が文化財保護に対する理解と認識を深める一助になるとともに、学術研究の資料としてもご活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、福岡大同青果株式会社様をはじめとする関係者の方々には発掘調査から本書の作成に至るまでご理解とご協力を賜りました。心から感謝申し上げます。

令和2年3月25日

福岡市教育委員会
教育長 星子 明夫

例言

1. 本書は、福岡市教育委員会が2018（平成30）年度に福岡市博多区那珂六丁目において杭撤去工事に伴い行った埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
2. 発掘調査は福岡市教育委員会が行った。調査担当は屋山洋、三浦悠葵である。
3. 本稿で使用した遺構実測図、写真撮影は屋山、三浦が行った。
4. 出土遺物の整理は大石加代子、遺物実測は三浦、平川敬治、遺物の写真撮影、製図は三浦が行った。
5. 今回の調査報告に係る座標は都市再生街区基本調査により設置された基準点を使用しており、図中に使用した方位は国土地理院（世界測地系）の座標北である。
6. 遺構の呼称は略号化し、竪穴建物をS C、掘立柱建物をS B、甕棺墓をS T、土坑をS K、溝をS D、ピットをS Pとした。
7. 貿易陶磁器の分類は『大宰府条坊跡X V』太宰府市の文化財第49集を参考とした。
8. 今回の調査に伴う出土資料および記録類は埋蔵文化財センターで収蔵保管し、利用に供する予定である。

遺跡名	那珂遺跡群	調査次数	第174次
遺跡調査番号	1816	遺跡略号	N A K-174
地番	福岡市博多区那珂6丁目314番地	分布地図番号	038（塩原）
調査対象面積	10625.8m ²	調査面積	1310m ²
調査期間	平成30（2018）年8月9日～平成31（2019）年1月18日		

本文目次

第Ⅰ章 はじめに	
1. 調査に至る経緯	1
2. 調査の組織	1
第Ⅱ章 遺跡の立地と歴史的環境	2
第Ⅲ章 発掘調査の記録	8
1. 調査の概要	8
2. 遺構と遺物	
(1) 住居	8
(2) 掘立柱建物	9
(3) 壕棺墓	14
(4) 土坑	15
(5) 溝	15
(6) その他の遺構・遺物	19
第Ⅳ章 小結	20

挿図目次

第1図 周辺遺跡分布図 (1/2,5000)	3	第16図 S K 292 実測図 (1/60・1/30)	15
第2図 調査地点の位置 (1/4,000)	4	第17図 S D 007・129・130 土層断面図	
第3図 調査区配置図 (1/2,000)	4	(1/40)	15
第4図 遺構全体図 (1/200)		第18図 S D 017・018 土層断面図 (1/40)	16
第5図 1・4区遺構配置図 (1/100)	5	第19図 S D 007・129・130 遺物実測図	
第6図 3区遺構配置図 (1/100)	6	(1/4)	17
第7図 2・4区遺構配置図 (1/100)	7	第20図 S D 017・018 遺物実測図	
第8図 S C 208 実測図 (1/60・1/40)	8	(1/4・1/6・1/2)	18
第9図 S C 026 実測図 (1/60)	9	第21図 S A 01 実測図 (1/60)	19
第10図 S B 01 実測図 (1/60)	9	第22図 その他の遺物 (1/4・1/2)	19
第11図 S B 01 土層断面図 (1/60)	10	表1 遺構一覧表①	21
第12図 S B 02・03 実測図 (1/60・1/30)	11	表2 遺構一覧表②	22
第13図 S B 04・05・06 実測図 (1/60)	12	表3 遺構一覧表③	23
第14図 S B 07・08 実測図 (1/60)	13		
第15図 S T 109・093 実測図 (1/20)			
壺棺実測図 (1/8)	14		

図版目次

- | | | | |
|---------|--|---------|---|
| P L . 1 | 1) 1区完掘状況（東から）
2) 2区完掘状況（西から） | P L . 5 | 1) S D 130 土層断面（北から）
2) S D 007 土層断面（北から）
3) S D 018 土層断面（東から）
4) S D 017 土層断面（西から）
5) S T 109 検出状況（南から）
6) S T 093 検出状況（南東から）
7) S K 209 完掘状況（西から）
8) S K 209 土層断面（北から）
9) S P 281 検出状況（北から）
10) S P 281 出土須恵器
11) S D 007 遺物 1
12) S D 007 遺物 5
13) S D 129 遺物 8
14) S D 130 遺物 12
15) S D 130 遺物 13
16) S D 130 遺物 16
17) S D 130 遺物 15
18) S D 017 遺物 1
19) S D 018 遺物 18
20) S D 018 遺物 19
21) S D 018 遺物 21 |
| P L . 2 | 1) 3区完掘状況（西から）
2) 4区完掘状況（北から） | P L . 6 | |
| P L . 3 | 1) S C 026 検出状況（南西から）
2) S C 208 完掘状況（南東から）
3) S C 208 土層断面（南から）
4) S B 04 完掘状況（西から）
5) S B 01・02・03・04 完掘状況
（西から）
6) S B 07 完掘状況（南西から）
7) S B 08・SA01 完掘状況（南から）
8) S B 06 S P 019 根石検出状況
（東から） | P L . 6 | |
| P L . 4 | 1) S B 01 P 163・146 土層断面
（西から）
2) S B 01 P 145・148 土層断面
（東から）
3) S D 129・130 検出状況（南から）
4) S D 183 検出状況（西から）
5) S D 016・017・018 検出状況
（西から）
6) S D 238 検出状況（西から）
7) S D 007 完掘状況（西から）
8) S D 129 土層断面（南から） | P L . 6 | |

第Ⅰ章 はじめに

1. 調査に至る経緯

福岡市教育委員会は、同市博多区那珂6丁目313番1, 314番1, 315番1, 316番1, 317番1, 318番における、杭撤去工事に伴う埋蔵文化財の有無についての照会を平成29年7月24日付で受理した。

これを受けた埋蔵文化財課事前審査係は、申請地が周知の埋蔵文化財包蔵地である那珂遺跡群に含まれていること、確認調査が実施され現地表面下約10cmで遺構が確認されていることから、遺構の保全等に関して申請者と協議を行った。

その結果、埋蔵文化財への影響が回避できないことから、既存建物の杭撤去部分について記録保存のための発掘調査を実施することで合意した。

その後、平成30年8月6日付で福岡大同青果株式会社を委託者、福岡市長を受託者として埋蔵文化財発掘調査業務委託契約を締結し、同年8月9日から発掘調査を、翌令和元年度に資料整理および報告書作成を行うことになった。

2. 調査の組織

調査の体制は以下のとおりである。

調査委託 福岡大同青果株式会社

調査主体 福岡市教育委員会

(発掘調査: 30年度・資料整理: 31年度)

調査総括 文化財活用部埋蔵文化財課 課長 大庭康時(30年度)

菅波正人(令和元年度)

同課調査第2係長 大塚紀宜(30・令和元年度)

庶務 文化財活用部文化財活用課 管理係長 藤克己(29・30・令和元年度)

同管理係 松尾智仁(30年度)

松原加奈枝(令和元年度)

事前審査 文化財活用部埋蔵文化財課 事前審査係長 本田浩二郎(30・令和元年度)

主任文化財主事 田上勇一郎(30・令和元年度)

事前審査係 中尾裕太(30年度)

朝岡俊也(30・令和元年度)

調査担当 文化財活用部埋蔵文化財課 主任文化財主事 屋山洋

文化財主事 三浦悠葵

第Ⅱ章 遺跡の立地と歴史的環境

那珂遺跡の位置する福岡平野は、北を玄界灘に面し、西を油山から北へ発達する丘陵に、東を大城山から北西方に向にのびる月隈丘陵によって閉まれた沖積平野である。福岡平野の中央部には博多湾に向かって北西に流れる御笠川と那珂川がある。この二つの川に挟まれた地域は、阿蘇山火碎流によって形成された鳥栖ローム、八女粘土層を基盤とする洪積台地が、春日市須玖から福岡市博多区博多駅南地区にかけて延びている。この台地は、奴国の王墓があり中心部と目される春日市の須玖遺跡群から井尻、五十川を経て那珂、比恵へと続き、博多湾の海岸砂丘に連なり、板付遺跡、比恵遺跡群、那珂遺跡群などの重要な遺跡が密集しており、その上面には後期旧石器時代から中世にかけての遺跡が複合的に展開する。

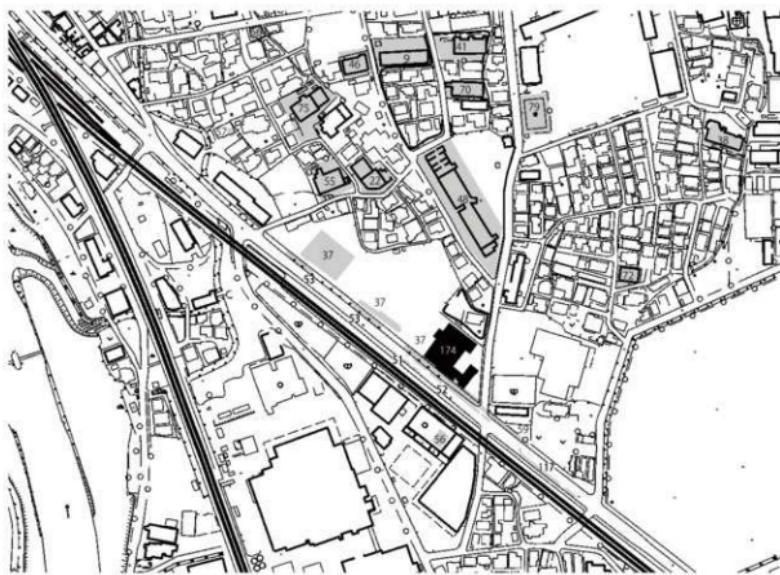
今回調査の対象となった那珂遺跡群は、那珂川と御笠川に挟まれた標高5～8mの洪積台地上に存在する。この台地の鞍部を挟んだ北側には標高5～10mに位置する比恵遺跡群がある。両者は一連の遺跡群と考えられており、2つの遺跡群を合わせた範囲は南北約2.4km、東西約1kmを測る。那珂遺跡群は令和2年現在までに179次までの調査があり、その成果から那珂・比恵遺跡群は弥生時代から古墳時代、古代にかけてピークを迎える遺跡群であることが判明している。遺物は後期旧石器時代から縄文時代にかけて出土しており、遺構が検出されるようになるのは弥生時代以降である。縄文時代晚期から弥生時代前期の遺構としては、174次調査地北西側の37次調査地で二重環濠が確認されている。同時期の遺構としては貯蔵穴や甕棺墓などが確認されている。弥生時代中期になると、集落は台地の中央部に展開するようになり、後期には更に南側にも集落が展開するようになる。弥生時代終末期から古墳時代初頭には那珂・比恵遺跡群を縱断する道路が造営され、福岡平野で最古期の前方後円墳である那珂八幡古墳が造営され、それらを中心に墓域や集落が展開してゆく。古墳時代後期には東光寺剣塚古墳、東光寺北古墳が造営され、後期以降には大型の掘立柱建物や柵列が確認されることから、「那津官家」との関連が指摘されている。古代には遺跡内の各地で正方位の規則的な区画溝や掘立柱建物群が確認され、「那珂郡衙」との関連が指摘されるなど、官衙に關係する遺構群がみられるようになる。中世以降には台地上に大溝などで区画された遺構が散見され、居館などが展開していた可能性が指摘されている。大溝は特に14～16世紀にかけて検出されており、室町時代から戦国時代における居館の造営が想定される。

今回の調査地点は丘陵の南西側、那珂遺跡群の南西端に位置する。周辺では同敷地の北西側で37次調査、西側道路沿いに51・52・53.117次調査、南側で59次調査が実施されており、37次調査では前述の二重環濠や掘立柱建物が確認されている。また、52・117次調査では古代に属す正方位に描った溝と掘立柱建物跡が確認されており、官衙遺構の可能性が指摘されている。

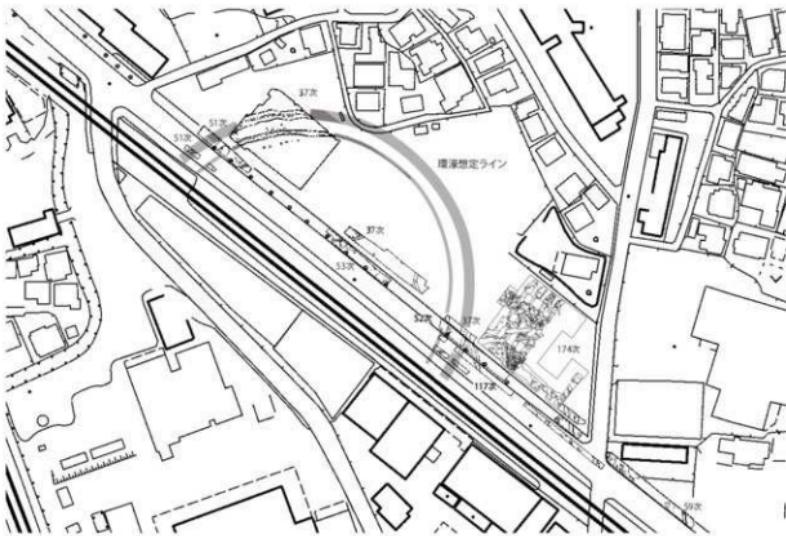


1. 那珂道路群 2. 比東道路群 3. 山王道路 4. 五十川道路 5. 那珂君体道路 6. 板付道路 7. 高烟道路 8. 諸岡A道路
 9. 諸岡B道路 10. 井尻A道路 11. 井尻B道路 12. 井尻C道路 13. 黄原道路 14. 三筑道路 15. 麦野A道路
 16. 麦野B道路 17. 麦野C道路 18. 南八幡道路 19. 横手道路群 20. 寺島道路 21. 曰佐道路 22. 須須・岡本道路
 23. 大橋E道路 24. 三宅B道路 25. 三宅C道路 26. 野多日A道路群 27. 板付東道路 28. 井相田D道路 29. 仲島道路
 30. 井相田C道路 31. 東那珂道路 32. 鶴居道路 33. 下月隈A道路群 34. 立花寺B道路 35. 久保郡道路 36. 嘉田大谷道路
 37. 宝満尾道路 38. 天神森道路群 39. 下月隈A道路群 40. 下月隈B道路群 41. 上月隈道路群 ● 174次調査地点

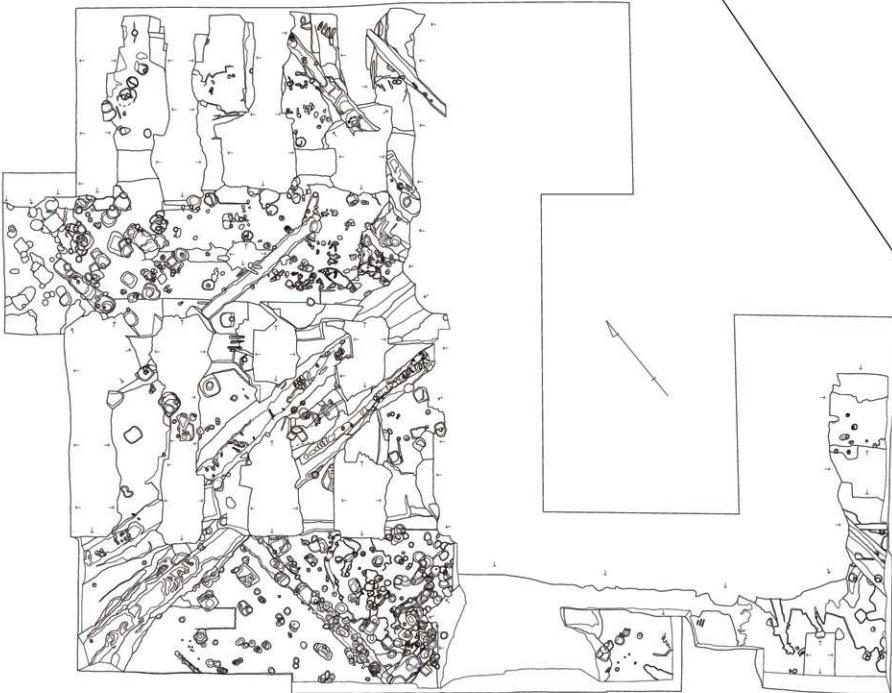
第1図 周辺遺跡分布図 (1/25,000)



第2図 調査地点の位置 (1/4,000)

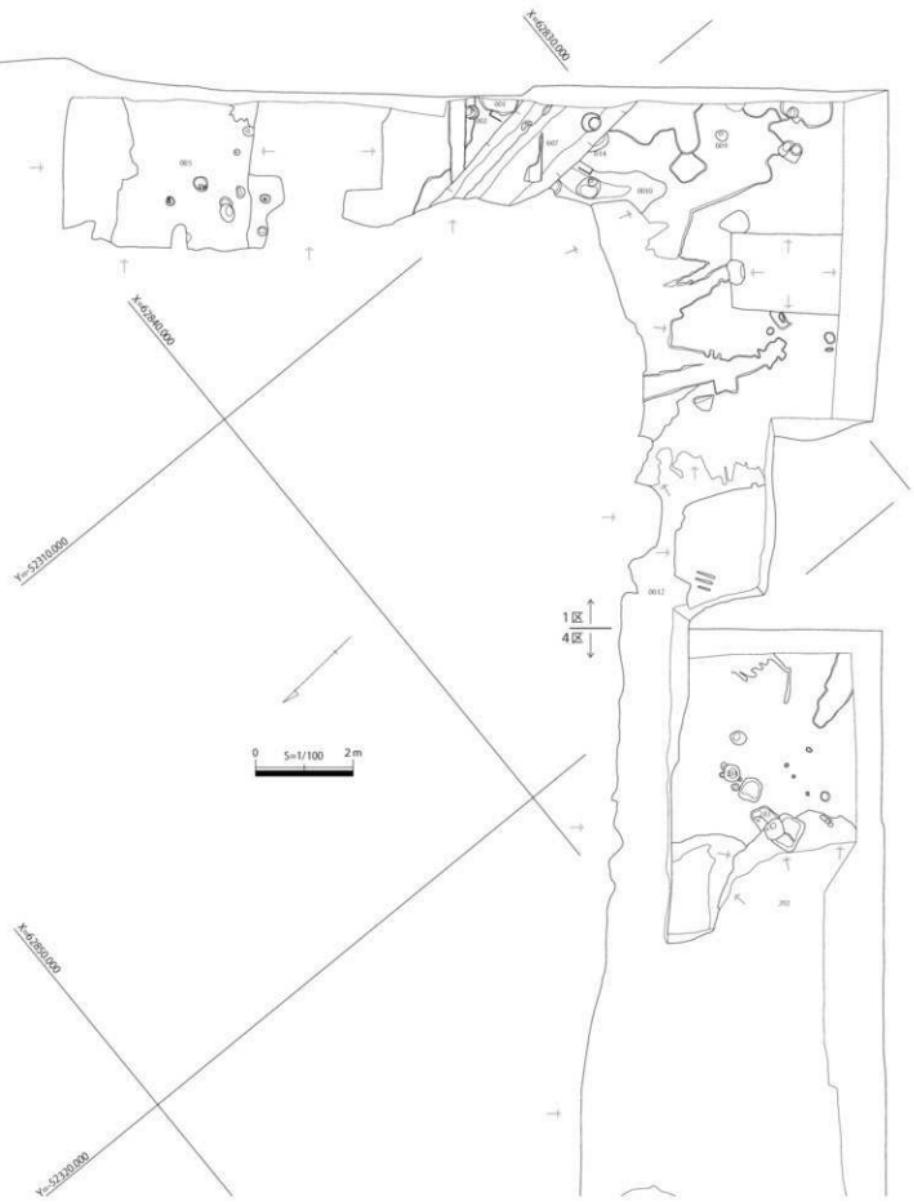


第3図 調査区配置図 (1/2,000)

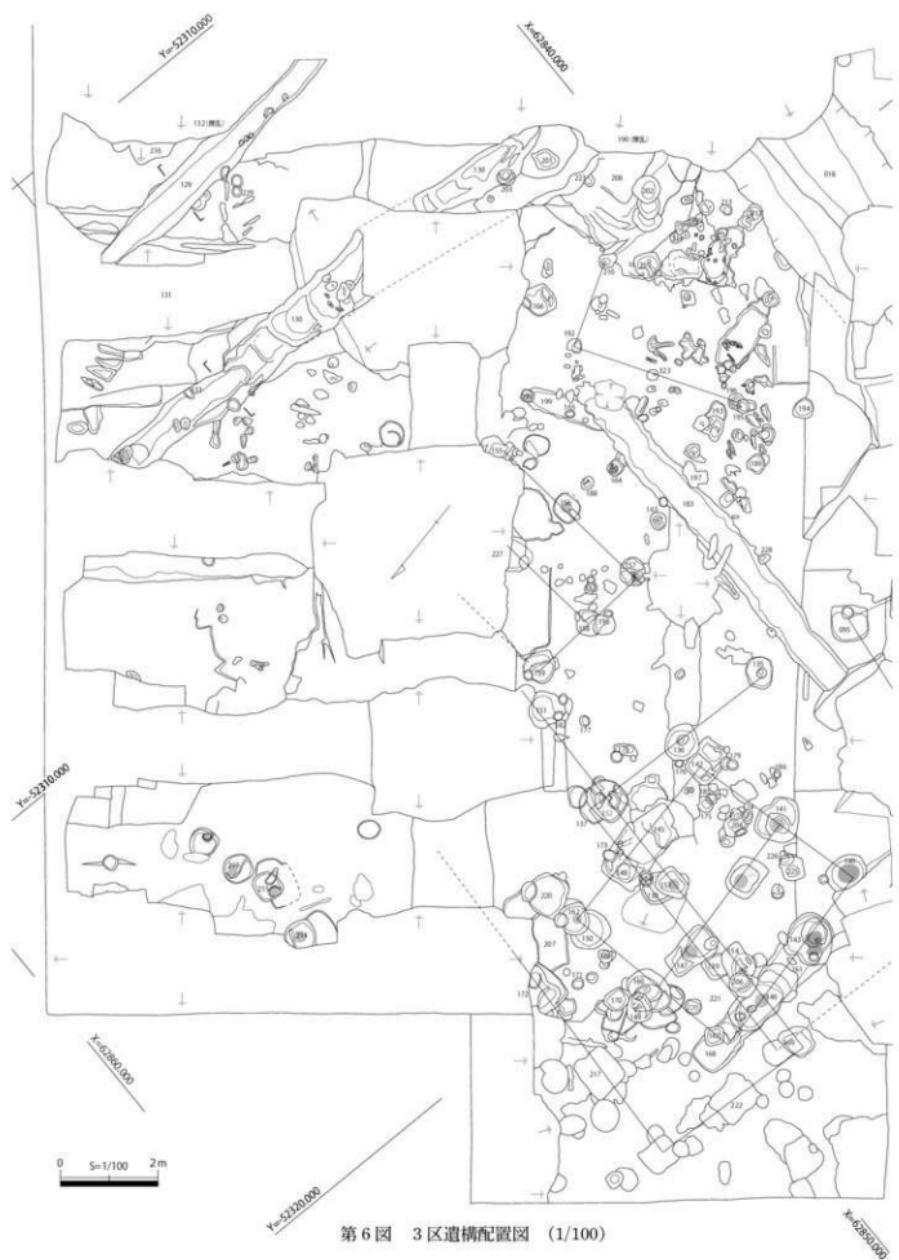


第4図 遺構全体図(1/200)

S=1/200 5m



第5図 1・4区造構配置図 (1/100)



第6図 3区遺構配置図 (1/100)



第7図 2・4区造構配置図 (1/100)

第III章 発掘調査の記録

1. 調査の概要

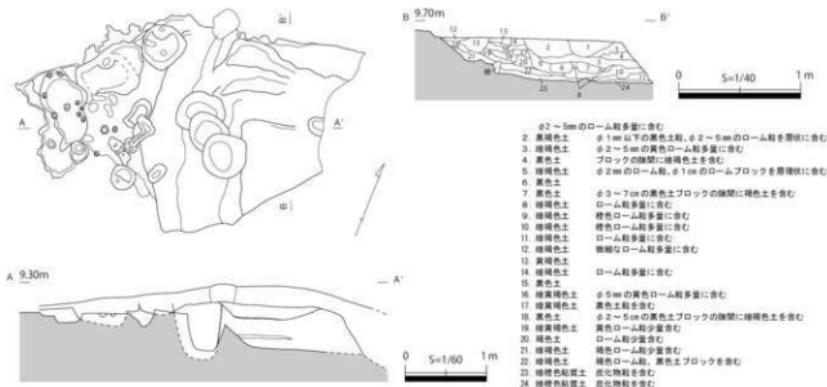
那珂遺跡群は、福岡平野の那珂川と御笠川に挟まれた洪積丘陵に立地する遺跡群である。今回の第174次調査地は那珂遺跡群の南端に位置し、遺構検出面の標高は約8.9mである。同一敷地内の北西側で行われた37次調査では弥生時代前期の二重環濠が検出され、調査区南西側の道路で行われた51～53次、117次調査では古代から中世の溝と掘立柱建物跡が確認されている。発掘調査は、平成30年8月16日から重機による表土掘削を開始した。調査対象地の南東側には既存建物の地下室が残っており、その周囲約4mの範囲は地下室の掘方により大きく削平され、遺構は消失していた。廃土処理の関係から、地下室の南側190mを1区、調査区の南西側を2区、北東側を3区、1区と2区の中間地点を4区として調査を行った。また、3区は検出した掘立柱建物の規模を確認するため北東側32m²の表土掘削を追加して行い、建物の規模を遺構の上面のみで確認した。

2. 遺構と遺物

(1) 住居

S C 208 調査区中央東側で検出した。北東側をS D 130、東側を擾乱に切られているため、プランは不明。残存する規模は2.9×2.5m、検出面からの深さは32cm。側溝は無く、主柱穴は確認できない。遺物は須恵器片、土師器片が出土した。遺物から、遺構の時期は古代。

S C 026 調査区南側で検出した。残存する規模は6.4×4.4m、検出面からの深さは7cm。西側には幅約25cm、深さ4cmの側溝が残る。遺物は須恵器、土師器の小片が出土した。遺物から、遺構の時期は8世紀頃。



第8図 S C 208 実測図 (1/60・1/40)

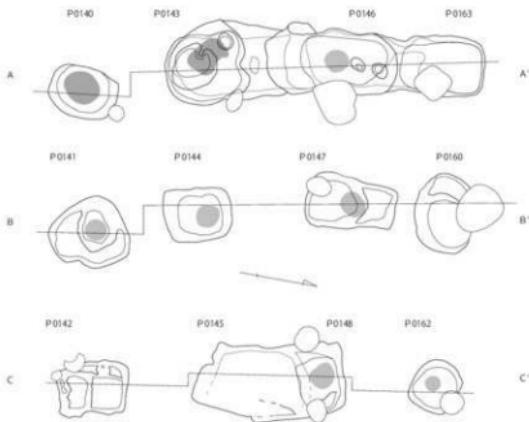


第9図 SC 026 実測図 (1/60)

(2) 掘立柱建物

掘立柱建物を8軒検出した。いずれの遺物も小片であり固化に耐えうるものがない。出土遺物から、SB 01~03は12世紀後半、SB 04~08は古代を下限とする。SB 05以外の掘立柱建物は全て南北方向に建つ。

SB 01 調査区北東側で検出した。方位は北から 10° 東偏し、3間×3間の規模をもつ総柱建物である。桁行長4.8m、梁行長3.9m、床面積約31.2m²。P 0143・0146・0163、P 0145・0148の掘方は布掘りを呈す。柱痕径は20~35cmで、柱穴埋土は版築による。



第10図 SB 01 実測図 (1/60)

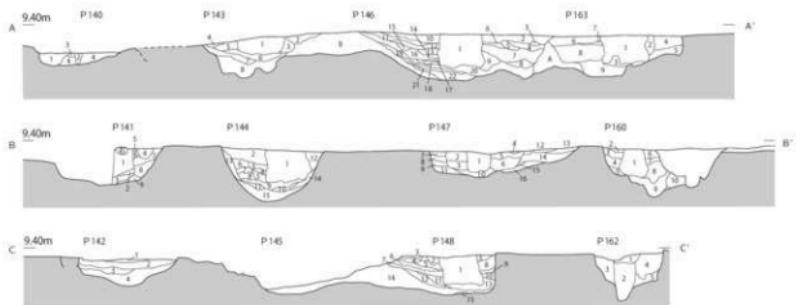
S B 02 調査区北西側で検出した。方位はほぼ北を向き、3間×2間以上の規模をもつ。残存桁行長6.7m、残存梁行長6.3m、床面積は約42.2m²。柱痕径は約20cmで、柱穴埋土は版築による。

S B 03 調査区北側で検出した。方位はほぼ北を向き、4間×2間以上の規模をもつ。残存桁行長8.7m、梁行長3.9m、床面積約33.9m²。柱痕径は約20cmで、柱穴埋土は版築による。

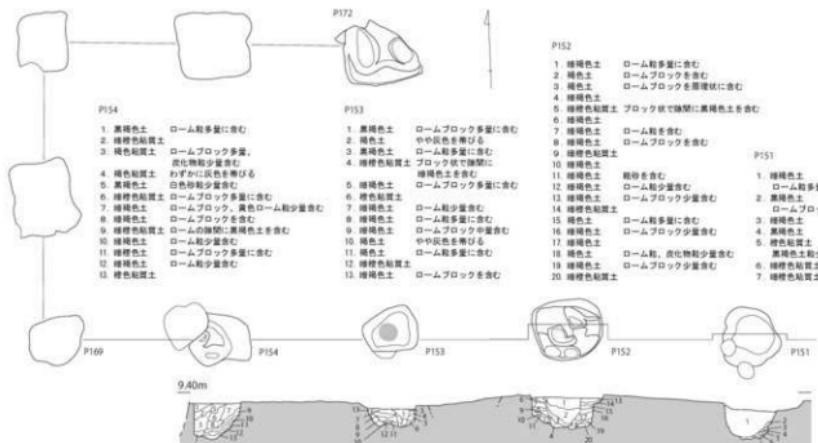
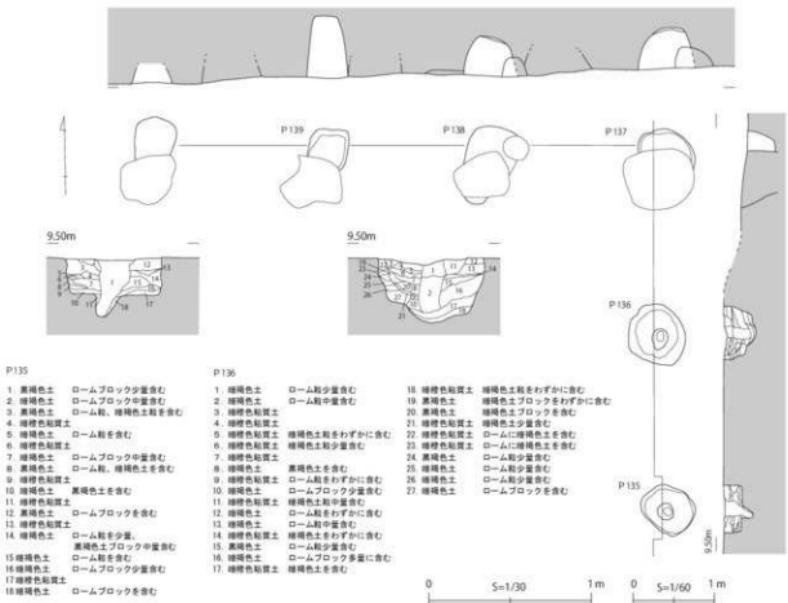
S B 04 調査区北西側で検出した。方位は北から5°西偏し、2間×2間以上の規模を持つ。残存桁行長3.9m、残存梁行長2.7m、床面積約11.7m²。柱痕径は約20cm。

S B 05 調査区北西側で検出した。方位は北から21°西偏し、2間×1間以上の規模をもつ。残存桁行長3.8m、残存梁行長1.8m、床面積約6.8m²。

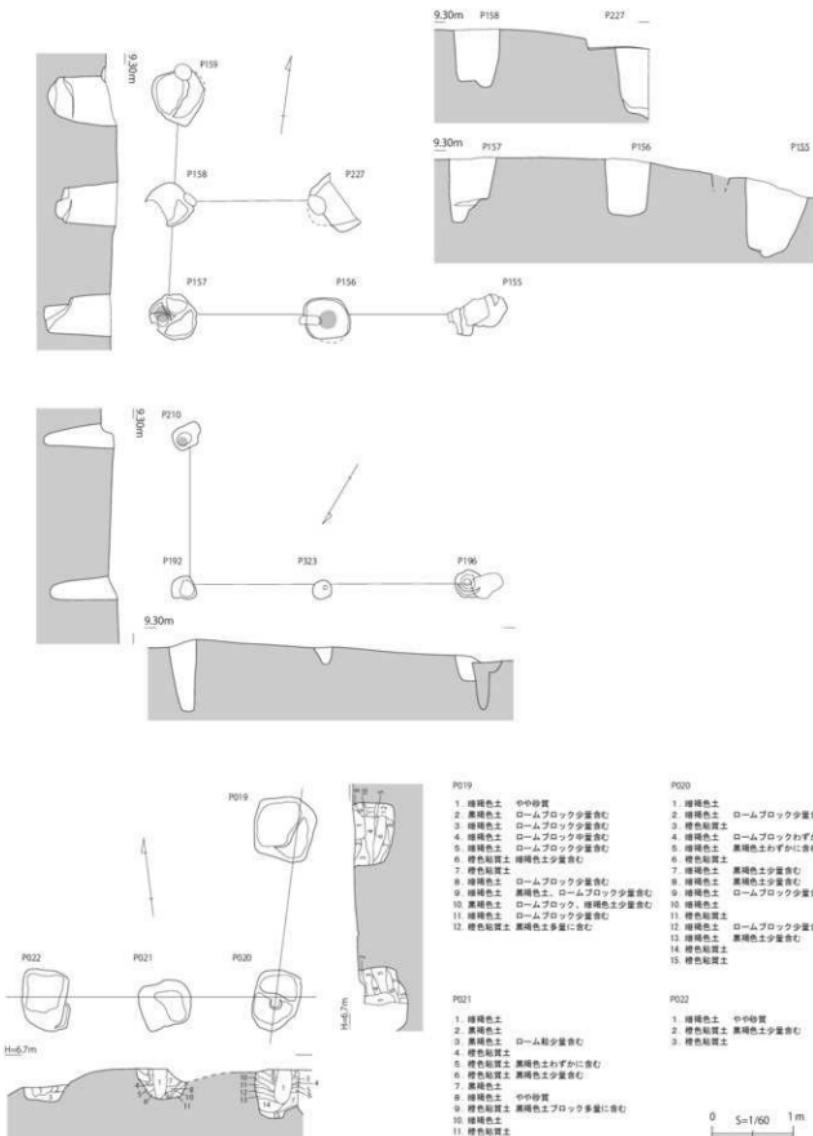
S B 06 調査区南東側で検出した。方位は北から5°東偏し、2間×1間以上の規模をもつ。残存桁行長3.0m、残存梁行長2.1m、床面積約6.3m²。柱痕径は15～20cmで、柱穴埋土は版築による。



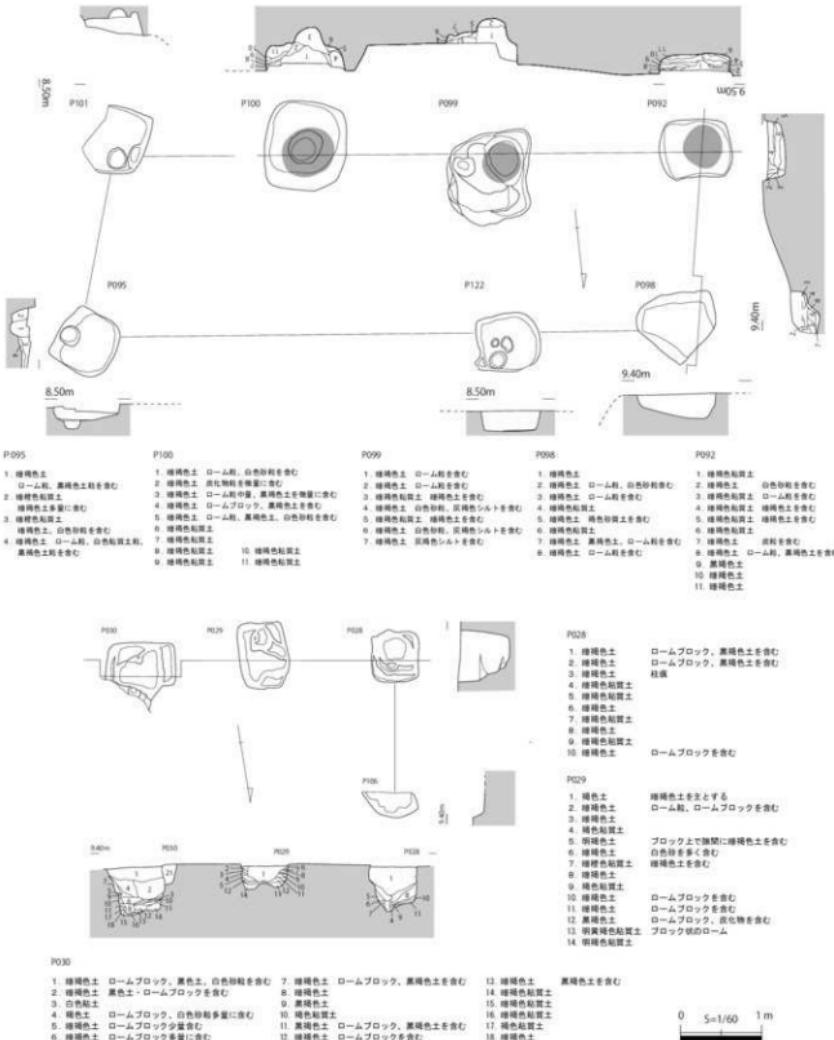
P0140	P0142	P0147	P0149
1. 暗褐色粘質土 ブロック状で隙間に 黒褐色土を含む	1. 黒褐色土 白黄色ロームブロックを含む 2. 黑褐色土 ローム粘土、黒褐色土ブロックを含む	1. 暗褐色土 ロームブロック多量に含む 2. 黑褐色土 ローム粘多量に含む 3. 黑褐色土 ローム粘少量に含む 4. 暗褐色粘質土 ブロック状隙間に黒褐色土を含む	1. 暗褐色土 ローム粘、白色物少量含む 2. 黑褐色土 ローム粘多量に含む 3. 黑褐色土 ローム粘少量に含む
2. 暗褐色土 ローム粘多量に含む	5. 暗褐色粘質土 ブロック状隙間に黒褐色土を含む	5. 黑褐色土	4. 暗褐色粘質土 黒褐色土多量に含む
3. 暗褐色粘質土	6. 黑褐色土 ロームブロック少量に含む	6. 暗褐色粘質土 ロームブロック多量に含む	5. 暗褐色粘質土 ローム粘多量に含む
4. 暗褐色粘土	7. 黑褐色土 ローム粘少量に含む	7. 黑褐色土 ロームブロック少量に含む	6. 暗褐色粘土 ローム粘少量に含む
	8. 黑褐色土 ブロック状隙間に黒褐色土を含む	8. 黑褐色土 ロームブロック多量に含む	7. 黑褐色土 ロームブロック少量に含む
	9. 黑褐色粘土	9. 黑褐色土 ローム粘少量に含む	8. 暗褐色粘土 沖れたロームブロック 9. 黑褐色粘土
		10. 黑褐色土	9. 黑褐色土 白色物少量含む
		11. 黑褐色土	10. 暗褐色粘質土
		12. 黑褐色土	11. 黑褐色土 ロームブロック右下の 13. 黑褐色土
		13. 黑褐色土	12. 黑褐色土 ロームブロックを含む 14. 黑褐色土 ブロック状隙間に
		14. 黑褐色土	15. 黑褐色土 明確な柱孔無 15. 黑褐色土
			16. 黑褐色土
			17. 黑褐色土
			18. 黑褐色土
			19. 黑褐色土
			20. 黑褐色土
			21. 黑褐色土
			22. 暗褐色粘質土
			23. 暗褐色粘土
			24. 暗褐色粘土
			25. 暗褐色粘土
			26. 暗褐色粘土
			27. 暗褐色粘土
			28. 暗褐色粘土
			29. 暗褐色粘土
			30. 暗褐色粘土
			31. 暗褐色粘土
			32. 暗褐色粘土
			33. 暗褐色粘土
			34. 暗褐色粘土
			35. 暗褐色粘土
			36. 暗褐色粘土
			37. 暗褐色粘土
			38. 暗褐色粘土
			39. 暗褐色粘土
			40. 暗褐色粘土
			41. 暗褐色粘土
			42. 暗褐色粘土
			43. 暗褐色粘土
			44. 暗褐色粘土
			45. 暗褐色粘土
			46. 暗褐色粘土
			47. 暗褐色粘土
			48. 暗褐色粘土
			49. 暗褐色粘土
			50. 暗褐色粘土
			51. 暗褐色粘土
			52. 暗褐色粘土
			53. 暗褐色粘土
			54. 暗褐色粘土
			55. 暗褐色粘土
			56. 暗褐色粘土
			57. 暗褐色粘土
			58. 暗褐色粘土
			59. 暗褐色粘土
			60. 暗褐色粘土
			61. 暗褐色粘土
			62. 暗褐色粘土
			63. 暗褐色粘土
			64. 暗褐色粘土
			65. 暗褐色粘土
			66. 暗褐色粘土
			67. 暗褐色粘土
			68. 暗褐色粘土
			69. 暗褐色粘土
			70. 暗褐色粘土
			71. 暗褐色粘土
			72. 暗褐色粘土
			73. 暗褐色粘土
			74. 暗褐色粘土
			75. 暗褐色粘土
			76. 暗褐色粘土
			77. 暗褐色粘土
			78. 暗褐色粘土
			79. 暗褐色粘土
			80. 暗褐色粘土
			81. 暗褐色粘土
			82. 暗褐色粘土
			83. 暗褐色粘土
			84. 暗褐色粘土
			85. 暗褐色粘土
			86. 暗褐色粘土
			87. 暗褐色粘土
			88. 暗褐色粘土
			89. 暗褐色粘土
			90. 暗褐色粘土
			91. 暗褐色粘土
			92. 暗褐色粘土
			93. 暗褐色粘土
			94. 暗褐色粘土
			95. 暗褐色粘土
			96. 暗褐色粘土
			97. 暗褐色粘土
			98. 暗褐色粘土
			99. 暗褐色粘土
			100. 暗褐色粘土
			101. 暗褐色粘土
			102. 暗褐色粘土
			103. 暗褐色粘土
			104. 暗褐色粘土
			105. 暗褐色粘土
			106. 暗褐色粘土
			107. 暗褐色粘土
			108. 暗褐色粘土
			109. 暗褐色粘土
			110. 暗褐色粘土
			111. 暗褐色粘土
			112. 暗褐色粘土
			113. 暗褐色粘土
			114. 暗褐色粘土
			115. 暗褐色粘土
			116. 暗褐色粘土
			117. 暗褐色粘土
			118. 暗褐色粘土
			119. 暗褐色粘土
			120. 暗褐色粘土
			121. 暗褐色粘土
			122. 暗褐色粘土
			123. 暗褐色粘土
			124. 暗褐色粘土
			125. 暗褐色粘土
			126. 暗褐色粘土
			127. 暗褐色粘土
			128. 暗褐色粘土
			129. 暗褐色粘土
			130. 暗褐色粘土
			131. 暗褐色粘土
			132. 暗褐色粘土
			133. 暗褐色粘土
			134. 暗褐色粘土
			135. 暗褐色粘土
			136. 暗褐色粘土
			137. 暗褐色粘土
			138. 暗褐色粘土
			139. 暗褐色粘土
			140. 暗褐色粘土
			141. 暗褐色粘土
			142. 暗褐色粘土
			143. 暗褐色粘土
			144. 暗褐色粘土
			145. 暗褐色粘土
			146. 暗褐色粘土
			147. 暗褐色粘土
			148. 暗褐色粘土
			149. 暗褐色粘土
			150. 暗褐色粘土
			151. 暗褐色粘土
			152. 暗褐色粘土
			153. 暗褐色粘土
			154. 暗褐色粘土
			155. 暗褐色粘土
			156. 暗褐色粘土
			157. 暗褐色粘土
			158. 暗褐色粘土
			159. 暗褐色粘土
			160. 暗褐色粘土
			161. 暗褐色粘土
			162. 暗褐色粘土
			163. 暗褐色粘土
			164. 暗褐色粘土
			165. 暗褐色粘土
			166. 暗褐色粘土
			167. 暗褐色粘土
			168. 暗褐色粘土
			169. 暗褐色粘土
			170. 暗褐色粘土
			171. 暗褐色粘土
			172. 暗褐色粘土
			173. 暗褐色粘土
			174. 暗褐色粘土
			175. 暗褐色粘土
			176. 暗褐色粘土
			177. 暗褐色粘土
			178. 暗褐色粘土
			179. 暗褐色粘土
			180. 暗褐色粘土
			181. 暗褐色粘土
			182. 暗褐色粘土
			183. 暗褐色粘土
			184. 暗褐色粘土
			185. 暗褐色粘土
			186. 暗褐色粘土
			187. 暗褐色粘土
			188. 暗褐色粘土
			189. 暗褐色粘土
			190. 暗褐色粘土
			191. 暗褐色粘土
			192. 暗褐色粘土
			193. 暗褐色粘土
			194. 暗褐色粘土
			195. 暗褐色粘土
			196. 暗褐色粘土
			197. 暗褐色粘土
			198. 暗褐色粘土
			199. 暗褐色粘土
			200. 暗褐色粘土
			201. 暗褐色粘土
			202. 暗褐色粘土
			203. 暗褐色粘土
			204. 暗褐色粘土
			205. 暗褐色粘土
			206. 暗褐色粘土
			207. 暗褐色粘土
			208. 暗褐色粘土
			209. 暗褐色粘土
			210. 暗褐色粘土
			211. 暗褐色粘土
			212. 暗褐色粘土
			213. 暗褐色粘土
			214. 暗褐色粘土
			215. 暗褐色粘土
			216. 暗褐色粘土
			217. 暗褐色粘土
			218. 暗褐色粘土
			219. 暗褐色粘土
			220. 暗褐色粘土
			221. 暗褐色粘土
			222. 暗褐色粘土
			223. 暗褐色粘土
			224. 暗褐色粘土
			225. 暗褐色粘土
			226. 暗褐色粘土
			227. 暗褐色粘土
			228. 暗褐色粘土
			229. 暗褐色粘土
			230. 暗褐色粘土
			231. 暗褐色粘土
			232. 暗褐色粘土
			233. 暗褐色粘土
			234. 暗褐色粘土
			235. 暗褐色粘土
			236. 暗褐色粘土
			237. 暗褐色粘土
			238. 暗褐色粘土
			239. 暗褐色粘土
			240. 暗褐色粘土
			241. 暗褐色粘土
			242. 暗褐色粘土
			243. 暗褐色粘土
			244. 暗褐色粘土
			245. 暗褐色粘土
			246. 暗褐色粘土
			247. 暗褐色粘土
			248. 暗褐色粘土
			249. 暗褐色粘土
			250. 暗褐色粘土
			251. 暗褐色粘土
			252. 暗褐色粘土
			253. 暗褐色粘土
			254. 暗褐色粘土
			255. 暗褐色粘土
			256. 暗褐色粘土
			257. 暗褐色粘土
			258. 暗褐色粘土
			259. 暗褐色粘土
			260. 暗褐色粘土
			261. 暗褐色粘土
			262. 暗褐色粘土
			263. 暗褐色粘土
			264. 暗褐色粘土
			265. 暗褐色粘土
			266. 暗褐色粘土
			267. 暗褐色粘土
			268. 暗褐色粘土
			269. 暗褐色粘土
			270. 暗褐色粘土
			271. 暗褐色粘土
			272. 暗褐色粘土
			273. 暗褐色粘土
			274. 暗褐色粘土
			275. 暗褐色粘土
			276. 暗褐色粘土
			277. 暗褐色粘土
			278. 暗褐色粘土
			279. 暗褐色粘土
			280. 暗褐色粘土
			281. 暗褐色粘土
			282. 暗褐色粘土
			283. 暗褐色粘土
			284. 暗褐色粘土
			285. 暗褐色粘土
			286. 暗褐色粘土
			287. 暗褐色粘土
			288. 暗褐色粘土
			289. 暗褐色粘土
			290. 暗褐色粘土
			291. 暗褐色粘土
			292. 暗褐色粘土
			293. 暗褐色粘土
			294. 暗褐色粘土
			295. 暗褐色粘土
			296. 暗褐色粘土
			297. 暗褐色粘土
			298. 暗褐色粘土
			299. 暗褐色粘土
			300. 暗褐色粘土
			301. 暗褐色粘土
			302. 暗褐色粘土
			303. 暗褐色粘土
			304. 暗褐色粘土
			305. 暗褐色粘土
			306. 暗褐色粘土
			307. 暗褐色粘土
			308. 暗褐色粘土
			309. 暗褐色粘土
			310. 暗褐色粘土
			311. 暗褐色粘土
			312. 暗褐色粘土
			313. 暗褐色粘土
			314. 暗褐色粘土
			315. 暗褐色粘土
			316. 暗褐色粘土
			317. 暗褐色粘土
			318. 暗褐色粘土
			319. 暗褐色粘土
			320. 暗褐色粘土
			321. 暗褐色粘土
			322. 暗褐色粘土
			323. 暗褐色粘土
			324. 暗褐色粘土
			325. 暗褐色粘土
			326. 暗褐色粘土
			327. 暗褐色粘土
			328. 暗褐色粘土
			329. 暗褐色粘土
			330. 暗褐色粘土
			331. 暗褐色粘土
			332. 暗褐色粘土
			333. 暗褐色粘土
			334. 暗褐色粘土
			335. 暗褐色粘土
			336. 暗褐色粘土
			337. 暗褐色粘土
			338. 暗褐色粘土
			339. 暗褐色粘土
			340. 暗褐色粘土
			341. 暗褐色粘土
			342. 暗褐色粘土
			343. 暗褐色粘土
			344. 暗褐色粘土
			345. 暗褐色粘土
			346. 暗褐色粘土
			347. 暗褐色粘土
			348. 暗褐色粘土
			349. 暗褐色粘土
			350. 暗褐色粘土
			351. 暗褐色粘土
			352. 暗褐色粘土
			353. 暗褐色粘土
			354. 暗褐色粘土
			355. 暗褐色粘土
			356. 暗褐色粘土



第12図 SB02・03実測図 (1/60・1/30)



第13図 SB04・05・06 実測図 (1/60)



第14図 SB07・08実測図(1/60)

S B 07 調査区西側で検出した。方位は北から 10° 東偏し、3間×1間以上の規模をもつ。残存桁行長7.2m、梁行長2.4m、床面積約17.2m²。

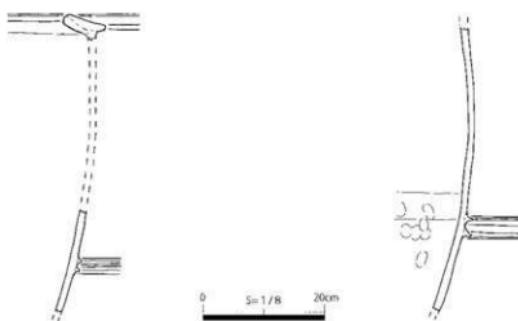
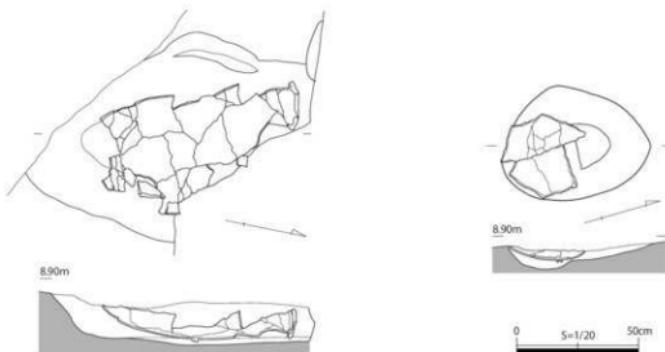
S B 08 調査区南西側で検出した。方位は北から 10° 東偏し、2間×1間以上の規模をもつ。桁行長 3.8 m、梁行長 2.0 m、床面積約 7.6m²。柱の抜き跡の径は 45～60cm。

(3) 瓢棺墓

瓢棺墓を2基検出した。どちらも依存状態は極めて悪い。

S T 109 調査区南西側で検出した。上半はS D 017溝掘削時に破壊されている。墓壙は底部付近のみ残存し、長軸115cm×短軸85cm、深さ17cm。瓢棺はほぼ水平に埋置されている。瓢棺は残存状態が悪く、口径等全体規模の復元はできなかった。口縁は内側に大きく張りだし外傾する。外側への口縁の発達は無い。口縁下に突帯は無く、胴はほぼ直立する。胸部に断面三角形の突帯が2条めぐる。器壁は10mm前後。弥生時代中期前半。

S T 093 調査区西側で検出した。上半は擾乱により削平を受けている。墓壙は底部付近のみ遺存し、長軸60cm×短軸47cm、深さ9cm。瓢棺は残存状態が悪く、墓壙底面に沿って胸部が残存するのみである。弥生時代中期前半。



第15図 S T 109・093実測図 (1/20) 瓢棺実測図 (1/8)

(4) 土坑

S K 292 調査区南側で検出した。上端の残存長は 360cm × 192cm、深さ 75cm。残存箇所から、平面系は円形と考えられる。断面系は貯蔵穴状のフラスコ形を呈す。土層から少なくとも 2 回の掘り返しが考えられる。遺物は弥生土器、須恵器、土師器の小片が出土した。遺物から、時期は古代。



第 16 図 S K 292 実測図 (1/60・1/30)

(5) 溝

S D 007 は 1 区南西側に位置する。方位はほぼ南北を向く。検出した全長は 3.6m、幅約 1.4m、深さ約 0.9m。断面は逆台形を呈し、堆積状況から少なくとも 2 回の掘り返しを行っている。那珂遺跡群 37 次調査 S D 05、52 次調査 S D 04、117 次調査 S D 04 と同一の溝である。また、同じく南北方向を向いた S D 129 は、位置関係から S D 007 の続きとは考え難い。遺物 1・2 は須恵器。1 は高环の完形品。环部口径 15.0cm、脚部底径 13.0cm、器高 16.5cm。脚部中程に 2 条の沈線がめぐる。2 は环。復元口径 12.2cm、器高 3.2cm。3・4 は土師器の高环。3 は环部で、復元口径 17.6cm、



第 17 図 S D 007・129・130 土層断面図 (1/40)

器高5.1cm。下部に一条の沈線がめぐる。4は残存高11.5cm。脚部内面はナデが甘く、幅0.7~1.5cmの粘土紐を積み上げた様子が見て取れる。5は初期瓦。表裏面に横方向の明確なナデ調整が見られ、片方の端部はヘラ状の工具で切り取り、ナデ調整を施した痕跡が見て取れる。遺物から、埋没時期は6世紀末~7世紀初頭。

S D 129 は3区東側に位置する。方位真北を基準にほぼ東西を向く。検出した全長は約6.0m、幅約0.8m、深さ約1.0m。断面は逆台形を呈す。少なくとも4回以上の掘り返しを行っている。流水・滌水層は無い。遺物6・7は上層、8・9は下層から出土した。6は弥生時代中期末頃の甕。復元口径29.8cm。7・8は須恵器の壺。7は復元口縁13.8cm、器高4.0cm。8は復元口径13.8cm、器高4.0cm。9は土師器の甕。復元口径18.0cm。遺物から、埋没時期は6世紀末~7世紀初頭。

S D 130 3区東側に位置する。方位は真北を基準にほぼ東西を向く。検出した全長は11.5m、幅約1.3m。深さは最も浅い箇所が0.6mで、底面は階段状を呈す。堆積状況から、少なくとも5回以上の掘り返しが行われている。流水・滌水層は無い。遺物10・11は須恵器の壺蓋。10は復元径10.0cm、器高2.0cm。11は復元径14.4cm、器高1.4cm。12は須恵器の壺。復元口径14.8cm、復元底径11.6cm、器高3.8cm。13~15は土師器。13は復元口径15.0cm、復元底径11.4cm、器高3.2cm。14は把手付甕。復元口径26.2cm。15は高环の脚部。底径10.0cm、脚部高8.1cm。16は瓦器碗。復元口径16.0cm、器高5.7cm、底径7.0cm。遺物から、埋没時期は12世紀後半以降。

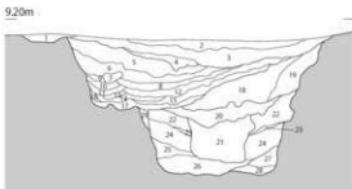
S D 183 は3区中央南側に位置する。S D 199を切り、検出した全長は8.2m、幅約0.8m。

S D 199 は3区中央南側に位置する。検出した全長は1.7m、幅約0.5m、深さ約0.2m。

S D 016 は2区中央を東西方向に横断する。S D 017を切る。検出した全長は3.8m、幅約0.5m。

S D 017 は2区を東西方向に横断する。方位はほぼ東西を向く。検出した全長は27.3m、最も広い箇所の幅は2.9m、深さ約1.1m。土層断面から2~4層の深い掘り込みを除いて、少なくとも5回以

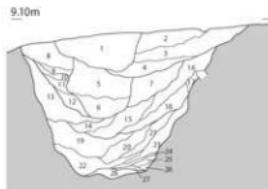
S D 017



1. 緑褐色土
2. 緑褐色地質 ロームブロック・白色砂鉄を含む
3. 黒色土
4. 黒褐色土
5. 黑褐色地質
6. 黑褐色地質 ロームが漂水によりヘドロ化したもの
7. 黑褐色土
8. 黑褐色地質
9. 黑褐色地質
10. 黑褐色地質 ロームが漂水によりヘドロ化したもの
11. 緑褐色地質
12. 緑褐色地質 ロームが漂水によりヘドロ化したもの
13. 緑褐色地質 ロームが漂水によりヘドロ化したもの
14. 緑褐色地質
15. 黄褐色土
16. 緑褐色土
17. 緑褐色土 ロームブロックを含む
18. 緑褐色地質
19. 黑褐色土 ロームブロックを含む
20. 黑褐色地質
21. 黑褐色地質
22. 黑褐色地質 ロームブロックを含む
23. 緑褐色地質
24. 緑褐色地質
25. 黄褐色土
26. 黄褐色地質
27. 黄褐色地質 ロームブロック・砂質土を含む
28. 黄褐色地質
29. 緑褐色地質

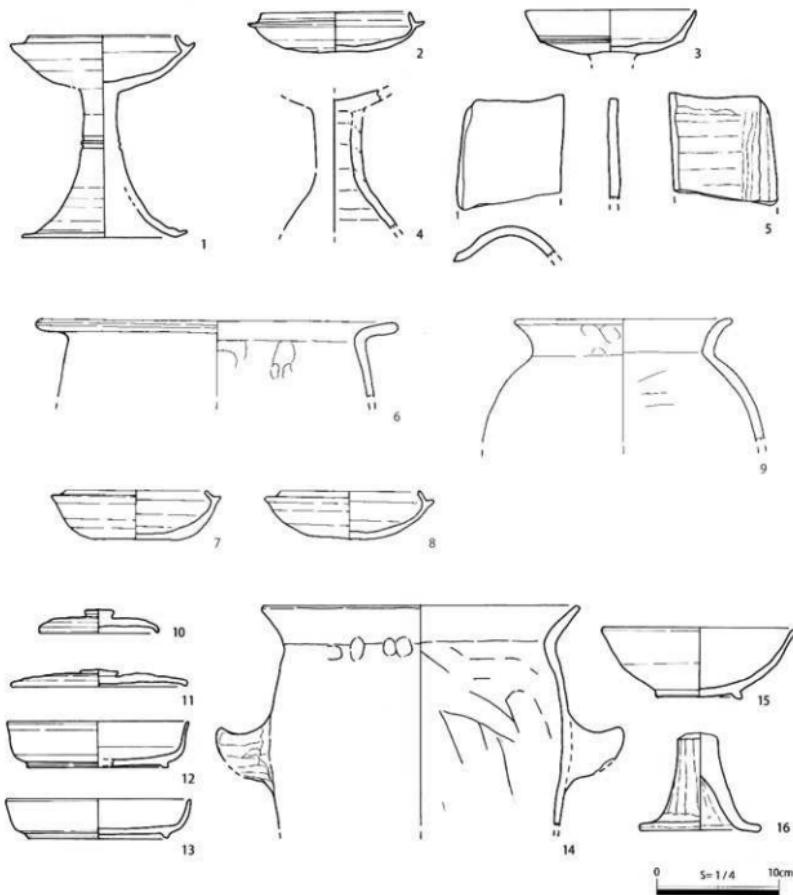
0 5m 1/40

S D 018



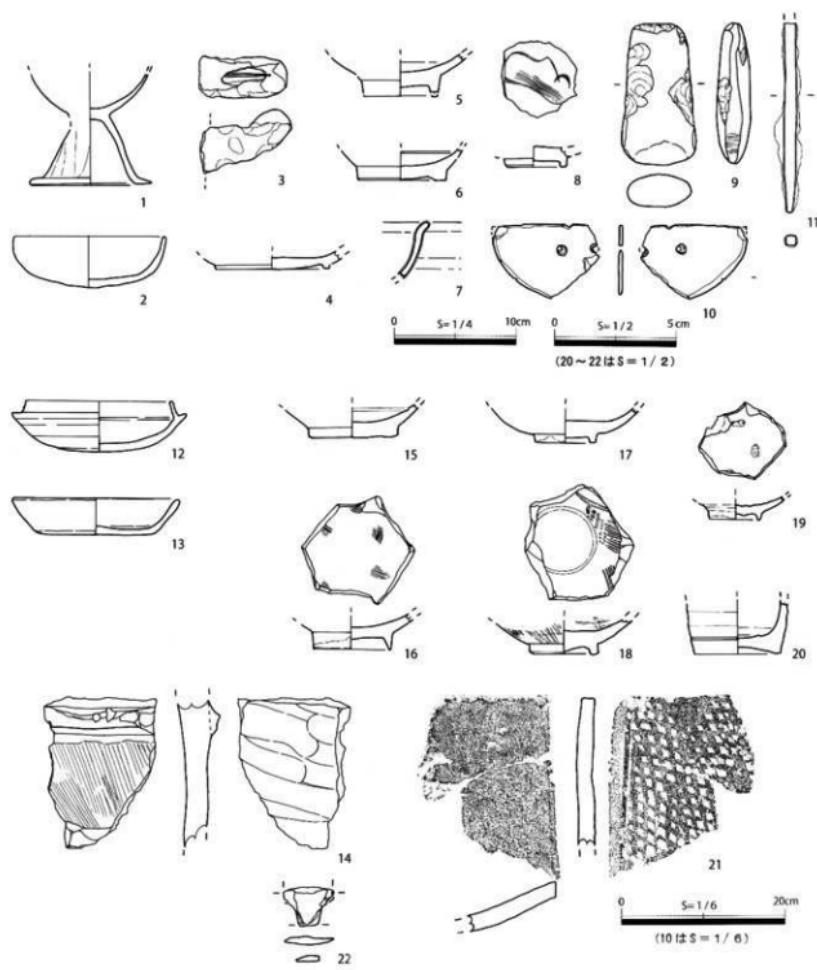
1. 緑褐色土
2. 緑褐色土 下層に黒褐色地質を含む。ロームはやや厚層状。自然堆積
3. 黑褐色土
4. 黑褐色地質 ロームを含む。ロームブロックを含む
5. 黑褐色土
6. 黑褐色土 ロームを含む
7. 黑褐色土 ロームブロック、白色砂鉄を含む
8. 黑褐色土 ロームブロック、上部に黒褐色地質を含む
9. 黑褐色土 ロームを含む。黒褐色地質やや下伏りで、自然堆積か、堆積層か
10. 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。砂質は含まない
11. 黑褐色土 ロームを下伏りの堆積状に含む。黒褐色地質を含む
12. 緑褐色土 ロームを含む
13. 緑褐色土 ロームを含むとし、灰褐色地質を多く含む
14. 黑褐色土 ロームを含むとし、自然堆積か
15. 黑褐色土 14に比ロームを多く含む
16. 緑褐色土
17. 黄褐色地質
18. 緑褐色地質 上層は白褐色地質ブロック。下層は黄褐色土ブロックを含む
19. 黑褐色地質 ロームブロックを含む
20. 黑褐色地質 内れ層は白褐色地質を多く含む
21. 緑褐色地質 ロームブロックを含むとし、表面の黒褐色地質か
22. 黄褐色地質 白褐色地質を少許含む
23. 緑褐色地質 黒褐色地質の和を多く含む。自然堆積か
24. 黑褐色地質 白褐色地質とロームを少許含む
25. 緑褐色地質 ロームブロックを含むとし、灰褐色地質を含む
26. 黑褐色土 堆積土を含む
27. 黄褐色地質
28. 黄褐色地質 黄褐色のロームを多く含む。画面は濃い泥で自然堆積

第18図 S D 017・018 土層断面図 (1/40)



第19図 SD 007・129・130 遺物実測図 (1 / 4)

上掘り返しが行われている。5～17層は浅い掘り返しと深い掘り返しが交互に行われており、粘土化した堆土から滲水していた可能性が高い。第20図遺物1・2・4は土師器。1は丹塗高杯。脚部底径9.9cm、残存高5.7cm。丹塗は外面のみ。2は壺。口径12.4cm、器高4.2cm。底部は丸底。4は皿。底径9.4cm。3は甌、もしくは瓶の把手部。把手上面に線刻をもつ。5は白磁碗V類で、復元高台径6.0cm。6は白磁碗1類で、高台径7.3cm。7は龍泉窯系青磁碗。8は龍泉窯系青磁碗VII類で、高台径5.0cm。9は弥生時代の小型の大型蛤刀石斧。全長11.6cm、最大幅6.0cm、最大厚2.7cm。10は弥生時代の石包丁。残存長8.7cm、残存幅6.0cm、厚さ0.4cm。直径4mmの孔をもち、両側穿孔。



第20図 SD 017・018 遺物実測図 (1/4・1/6・1/2)

11は棒状鉄製品。残存長7.8cm、幅0.5cm、厚さ0.5cm。断面は方形。先端がやや先細り、釘もしくは錐状の製品と考えられる。遺物から、埋没時期は12世紀中頃から後半。

SD 018はSD 017の北側を東西方向に横断する。方位はほぼ東西を向く。検出した全長は23.7m、最も広い箇所の幅は2.3m、深さは約1.3m。遺物は18が上層、それ以外は下層から出土した。遺物12は須恵器の壺。復元口径14.3cm、器高4.2cm。13は土師器の壺。復元口径13.6cm、器高3.0cm、復元底径4.2cm。14は円筒埴輪。外面は荒いナナメハケ、内面は明瞭なユビナデを施す。突堤断面は低い台形を呈す。15は白磁碗V-4b類。高台径7.3cm。16は白磁椀。IV類か。高台径6.3cm。17

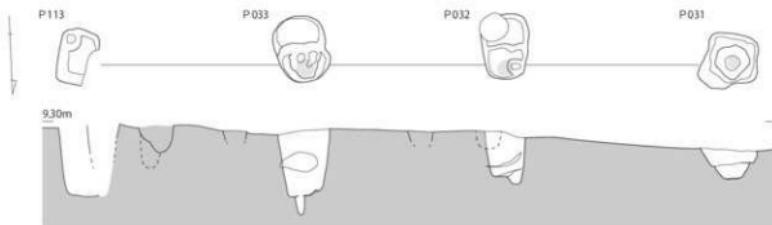
は龍泉窯系青磁椀。IV類か。底径 5.2cm。18 は同安窯系青磁椀 I -1c 類。底径 5.7cm。19 は高麗青磁椀。高台径 4.3cm。内面底部は工具による回転ケズリの痕跡が顕著である。20 は越州窯系青磁壺。底径 7.0cm。21 は瓦。凸面は格子目叩き、凹面は布目痕が残る。22 は弥生時代の磨製石劍。残存長 3.2cm、劍身最大幅 4.3cm、劍身最大厚 0.8cm。劍身関部は欠損している。石材が柔らかく風化が激しい。遺物から、埋没時期は 15 世紀頃。

S D 259 2 区南側から 4 区北西側に位置する。方位はほぼ南北を向く。検出した全長は 10.8m、幅約 1.0m、床面は南へ深くなり、深さは北側が約 0.2m、南側は約 0.5m。遺物は土師器が出土しており、埋没時期は古代以降か。

(6) その他の遺構・遺物

その他の遺構

S A 001 調査区西側で検出した。方位は北から 10° 東偏する。調査区内に関連する遺構は見られず、柱穴列として完結することから、柵状遺構か。残存する桁行長は 8.1 m、柱間隔 1.8 ~ 2.0 m、柱直径は約 20cm。遺物は土師器・須恵器の細片が出土した。



第 21 図 S A 01 実測図 (1/60)

その他の遺物

41 は S P 281 から完形で出土した須恵器の壺。口径 14.2cm、器高 5.2cm、底径 8.4cm。口縁から底部にかけてひずみが激しい。2 ~ 4 は滑石製臼玉。2・3 は 005 包含層中、4 は S P 0146 から出土した。2 は直径 6 mm、残存厚 1.5mm。3 は直径 6 mm、残存厚 1.5mm。4 は直径 7 mm、厚さ 2.5mm。



第 22 図 その他の遺物 (1/4・1/2)

第IV章 小結

(1) 調査の概要

調査の結果、弥生時代中期後半から室町時代にかけて、飛鳥時代と鎌倉時代を中心に、堅穴住居跡2軒、掘立柱建物跡8棟、溝9条、甕棺墓2基、大型土坑1基、柱穴列1条、その他多数の土壙やピットを検出した。

弥生時代に属す遺構は、中期後半の甕棺墓2基のみで、周囲に同時期の建物跡や墓などの遺構は見られなかった。また、中世の溝であるS D 129から弥生時代中期後半の甕の口縁部、S D 017から石包丁、小型の大型蛤刃石斧、S D 018から石剣片が出土しており、ごくわずかではあるが弥生時代の痕跡がうかがえる。弥生時代後期から古墳時代後期は遺構が検出されないものの、古墳時代後期の遺物として、SD018、SP084などから埴輪片が若干量出土している。大半はハケメが粗く、低い台形の突堤をもつ円筒埴輪だが、SD018からは一部同質の胎土で円筒埴輪とは異なる土製品片が出土している。いずれも欠損と摩耗が激しく元の形状は復元しえないが、形象埴輪片の可能性も考えられる。円筒埴輪片は調査地北西側の37次調査地点で出土したものと類似しており、今回出土した埴輪片も時期は6世紀前半頃である。近隣には直線距離で北に約1kmの場所に東光寺剣塚古墳があるが、埴輪の様相から近隣に別の古墳があった可能性が考えられる。

つづく古代に属す遺構としては、溝と掘立柱建物跡を検出した。掘立柱建物跡は遺物が非常に少なく、いずれも須恵器・土師器の微細な小片のみであることから明確な時期比定が困難であるが、遺物から、S B 04～08は飛鳥時代を下限としており、117次調査の古代の遺構との関係から、倉庫群の可能性も考えられる。ただし、後述する平安時代末～鎌倉時代以降の建物であるS B 02・03と遺物の出土状況はほぼ同じであり、これらの建物跡も時期が下る可能性が考えられる。溝S D 129・007は共にほぼ真北を基準に南北方向に掘られており、攪乱により断絶するため互いの関係性は不明だが、S D 007は52・117次調査で検出した溝と一連の溝であることから、52・117次調査で検出した建物跡との関連がうかがえる。

中世前半に属す遺構としては、溝と掘立柱建物跡を検出した。S B 01～03はいずれも建物の範囲が重複しており、同時期に建っていたのは1棟と考えられる。溝は、S D 130・SD017が真北を基準として南北方向、東西方向に掘られている。S B 02・03も真北を基準として建てられており、当該期の遺構は同一基準をもって構築されたものが散見される。

中世後半に属す遺構としては、S D 018を検出した。ただし15世紀代の遺物が出土するのは上層のみで、下層の遺物は12世紀後半を主体とする。このため、S D 018は12世紀後半頃に掘削され、15世紀まで掘削を繰り返し存続していた可能性もある。その場合、下層の溝はS D 017とほぼ同時期に存続していたこととなり、中世前半には深さ110cm以上の2条の溝が並行して掘られていたとも考えられる。S D 130・017・018は何らかの施設を画するものと考えらえるものの、交差する地点が攪乱により消失していることから切り合いなどの関係が不明であり、今回の調査成果ではこの溝どうしの性格や規格性、掘立柱建物との関係性を明らかにすることはできなかった。

表1 遺構一覧表①

遺構番号	性格	区	形状	大きさ (cm)	深さ (cm)	出土遺物	時期	箇号
001	廻乱	1	-	-	-	土師器 3 (灰陶脚輪 1)	不明	
002	ビット	1	円形	28 × 28 × a	11	土師器 2	不明	小糸のみ
003	廻乱	1	-	-	-	土師器 1	近世	小糸のみ
004	廻乱	1	-	-	-	土師器多數、灰陶器 4	近世	小糸のみ
005	一般下げ	1	-	-	-	土師器 6 - 滅失品 35、白陶 1 - 磁器 2 - 黒曜石チップ 1	中世	小糸のみ
006	ビット	2	円形	40 × 40	11	土師器 4	不明	小糸のみ
007	ビット	1	-	335 × 335 × 165	67	土師器 1 - 廃瓦器 - 初瓦瓦	1世紀末～7世紀初頭	小糸のみ
008	廻乱	1	-	23 × 20	13	土師器 1 - 灰陶器 2 - 白陶 1 - 黒曜石チップ 1	不明	小糸のみ
009	ビット	1	円形	24 × 24	15	土師器 1	不明	小糸のみ
010	土壤	1	不規形	240φ × 92	45	生糸 1 - 土師器 10 - 灰陶器 3	不明	小糸のみ
011	廻乱	1	-	-	-	土師器 1 - 陶器破片 1	古墳時代	小糸のみ
012	廻乱	1	-	-	-	土師器 1 - 陶器破片 1	古墳時代	小糸のみ
013	廻乱	1	-	-	-	生糸 1	古墳時代	小糸のみ
014	ビット	1	円形	54 × 18 × a	14	土師器 7 - 灰陶器 12 - 白陶 4	不明	小糸のみ
015	廻乱	2	-	-	-	土師器 7 - 灰陶器 12 - 白陶 4	不明	小糸のみ
016	廻	2	-	380 × 146 × a	-	-	不明	小糸のみ
017	廻	2	-	2729 × 287	-	土師器 1 - 灰陶器 2 - 白陶 1 - 磁器 2 - 石臼 1 - 灰陶器 1	12世紀後半	
018	廻	2	-	2366 × 230	-	上層：青銅・石鏡・鏡柄口鏡・瓦器類	15世紀	
019	S806	2	方形	80 × 75	54	土師器 15 - 灰陶器 12	不明	小糸のみ
020	S806	2	椭円	75 × 54	66	土師器 15 - 灰陶器 3	不明	小糸のみ
021	S806	2	方形	64 × 56	26	土師器 3 - 灰陶器 1 - 磁器 1	不明	小糸のみ
022	S806	2	方形	73 × 54	35	土師器 1	不明	小糸のみ
023	-	-	-	-	-	=125	-	
024	ビット	2	円形	61 × 54	-	-	不明	
025	ビット	2	円形	62 × 61	11	土師器 1	不明	小糸のみ
026	ビット	2	方形?	-	-	土師器多數 - 灰陶器多數 - 円筒埴輪 3	8世紀	小糸のみ
027	一般下げ	2	円形	-	-	土師器 2 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
028	S808	2	円形	91 × 84	-	土師器 29 - 灰陶器 7 - 円筒埴輪 1	不明	小糸のみ
029	S808	2	円形	72 × 69	-	土師器 62 - 灰陶器 1 - 磁器 1	不明	小糸のみ
030	S808	2	円形	138 × 120 × a	-	土師器 29 - 灰陶器 11	不明	小糸のみ
031	SA01	2	方形	66 × 54	37	壳生土壙 7 - 1 - 土師器 1	不明	小糸のみ
032	SA01	2	方形	87 × 59	33	土師器 1 - 灰陶器 6	不明	柱直径 16cm
033	SA01	2	椭円	89 × 62	53	土師器 13 - 灰陶器 3	不明	柱直径 20cm
034	ビット	2	円形	40 × 37	14	土師器 4 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
035	鉢穴	2	円形	30 × 28	23	-	不明	
036	鉢穴	2	円形	87 × 24	23	-	不明	
037	鉢穴	2	円形	66 × 48	40	土師器 3 - 灰陶器 2	不明	小糸のみ
038	鉢穴	2	円形	70 × 51	43	-	不明	
039	鉢穴	2	円形	60 × 55	47	壳生土壙 7 - 2 - 土師器 16 - 灰陶器 12	不明	小糸のみ
040	鉢穴	2	円形	62 × 58	21	土師器 17 - 灰陶器 2	不明	小糸のみ
041	一般下げ	2	円形	-	-	壳生土壙 7 - 8 - 灰陶器 4	不明	小糸のみ
042	廻	2	-	-	-	土師器 28 - 灰陶器 11 - 鉢塗 1	不明	
043	ビット	2	円形	34 × 25	31	壳生土壙 2 - 土師器 2	不明	小糸のみ
044	ビット	2	円形	36 × 28	25	土師器 2	不明	小糸のみ
045	ビット	2	円形	44 × 36	20	土師器 7	不明	柱直径 16cm
046	ビット	2	円形	49 × 36	31	土師器 8 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
047	ビット	2	円形	30 × 18 × a	27	-	不明	
048	ビット	2	円形	40 × 23	45	土師器 3 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
049	ビット	2	円形	40 × 25	37	土師器 4 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
050	ビット	2	円形	40 × 28	8	土師器 3 - 灰陶器 2	不明	小糸のみ
051	ビット	2	椭円	30 × 24	8	土師器 1	不明	小糸のみ
052	ビット	2	円形	30 × 35	29	土師器 15 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
053	ビット	2	円形	47 × 40	30	土師器 20 - 灰陶器 2 - 鉢塗 2	不明	小糸のみ
054	ビット	2	円形	20 × 28	7	黒曜石チップ	不明	小糸のみ
055	ビット	2	円形	35 × 23	13	土師器 3 - 灰陶器 4	不明	小糸のみ
056	ビット	2	円形	35 × 23	21	土師器 2	不明	小糸のみ
057	ビット	2	円形	24 × 16 × a	7	壳生土壙 1	不明	小糸のみ
058	ビット	2	方形	33 × 24	15	円筒埴輪 1	不明	
059	ビット	2	円形	27 × 17	10	土師器 7 - 2	不明	小糸のみ
060	ビット	2	円形	44 × 44	18	土師器 42 - 灰陶器 3	不明	小糸のみ
061	ビット	2	円形	40 × 36	5	土師器 26 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
062	廻	2	方形	57 × 44	24	土師器 1	不明	小糸のみ
063	ビット	2	円形	20 × 16	7	土師器 2	不明	
064	SC026	2	円形	110 × 44	21	壳生土壙 1	不明	小糸のみ
065	SC026	2	円形	49 × g × 40	22	土師器 6 - 灰陶器 2	不明	小糸のみ
066	SC026	2	円形	73 × g × 48	5	土師器 4 - 灰陶器 2	不明	小糸のみ
067	SC026	2	円形	28 × 23	10	土師器 3	不明	小糸のみ
068	SC026	2	円形	40 × 28 × a	6	土師器 2	不明	小糸のみ
069	SC026	2	円形	59 × 57	40	土師器 2	不明	小糸のみ
070	ビット	2	円形	73 × 62	37	土師器 20 - 灰陶器 7	不明	小糸のみ
071	鉢穴	2	方形	34 × 34	6	土師器 1	不明	小糸のみ
072	ビット	2	円形	59 × 53	47	-	不明	
073	鉢穴	2	円形	30 × 27	31	土師器 7 - 円筒埴輪 1	不明	
074	ビット	2	円形	192 × 43	12	壳生土壙 1 - 土師器 1 - 灰陶器 2 - 初瓦瓦 4	1世紀末～7世紀初頭	小糸のみ
075	ビット	2	円形	30 × 35	17	土師器 9 - 灰陶器 3	不明	小糸のみ
076	ビット	2	円形	67 × 37	18	土師器 1 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
077	ビット	2	円形	51 × 40	18	土師器 5	不明	小糸のみ
078	ビット	2	円形	44 × 44	37	土師器 1	不明	小糸のみ
079	ビット	2	円形	20 × 28	40	土師器 10	不明	小糸のみ
080	ビット	2	円形	23 × 29	8	土師器 10	不明	小糸のみ
082	ビット	2	円形	45 × g × 36 × a	10	土師器 7 - 灰陶器 3 - 鉢塗 1	不明	小糸のみ
083	ビット	2	円形	36 × 34	47	土師器 7 - 灰陶器 3 - 鉢塗 1	不明	小糸のみ
084	ビット	2	円形	21 × 13 × a	10	土師器 4 - 円筒埴輪 1	不明	小糸のみ
085	一般下げ	2	円形	-	-	土師器 3 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
086	廻	2	-	17 × 17	6	土師器 1 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
087	一般下げ	2	円形	-	-	土師器 12 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
088	一般下げ	2	円形	-	-	壳生土壙 2 - 土師器 17	不明	小糸のみ
089	SC026	2	円形	24 × 24	20	土師器 8	不明	小糸のみ
090	SC026	2	椭円	45 × 36	29	土師器 2 - 灰陶器 1	不明	小糸のみ
091	SC026	2	円形	40 × 28 × a	47	土師器 7 - 灰陶器 4	不明	小糸のみ
092	S807	2	円形	80 × 5	1	土師器 19 - 通路 5	不明	小糸のみ
093	S807	2	円形	120 × 92	-	黒曜石	不明	柱直径 47cm
094	ビット	2	円形	24 × 32	-	壳生土壙 1 - 土師器 3	不明	小糸のみ
095	ビット	2	椭円形	40 × 40	21	土師器 1 - 土師器 2	不明	小糸のみ
096	ビット	2	方形	45 × 43	31	土師器 4 - 土師器 1	不明	小糸のみ
097	ビット	2	円形	50 × 32	12	土師器 3	不明	小糸のみ
098	S807	2	円形	77 × 77	50	壳生土壙 1 - 通路 4	不明	小糸のみ
099	S807	2	円形	118 × 100	49	土師器 12 - 土師器 5	不明	柱直径 64cm
100	S807	2	円形	83 × 75 × a	36	土師器 4 - 土師器 1	不明	小糸のみ
102	-	-	-	-	-	=140	-	
103	ビット	2	椭円	38 × 26	14	土師器 3 - 土師器 2	不明	小糸のみ
104	ビット	2	円形	89 × 60 × a	27	土師器 2 - 土師器 1	不明	小糸のみ
105	ビット	2	円形	80 × 60	11	壳生土壙 1 - 土師器 2 - 土師器 1	不明	小糸のみ
106	ビット	2	円形	39 × 29	25	壳生土壙 1 - 土師器 1 - 土糸のみ	不明	小糸のみ

表2 遺構一覧表(2)

遺構番号	性格	名	形状	本体 (cm)	深さ (cm)	出土遺物	時期	箇号
103	柱	1	円柱	52 × 46 × φ	35	先生 13・土師器 3・須恵器 1	不明	小糸のみ
108	ビット	2	不規則	40 × 40	43	先生 37・土師器 1	不明	小糸のみ
109	縦溝	2	-	77 × φ × 80	-	焼附	先生時代中前半	小糸のみ
110	ビット	2	-	31 × φ × 30+ φ	15	土師器 1	不明	小糸のみ
111	柱穴	2	方形	85 × 84	-	-	不明	小糸のみ
112	ビット	2	-	47 × 47	27	-	不明	小糸のみ
113	ビット	2	-	65 × 66	40	土師器 10	不明	小糸のみ
114	ビット	2	-	25 × 27	29	土師器 3・須恵器 2	不明	小糸のみ
115	S807	2	方形	79 × 75	20	-	不明	小糸のみ
116	-	一段下げ	2	-	-	土師器多段・須恵器多段・白磁 4・石鍋 1	11世紀後半～12世紀	小糸のみ
117	セイト	2	-	25 × 25	12	-	不明	小糸のみ
118	セイト	2	-	36 × 28+ φ	22	-	不明	小糸のみ
119	-	一段下げ	2	-	-	-	不明	小糸のみ
120	ビット	2	円形	50+ φ × 41+ φ	28	-	不明	小糸のみ
121	SC026	2	円形	24 × 24	12	-	不明	小糸のみ
122	S807	2	横溝 3 方形	77 × 70	25	土師器 19・須恵器 5	不明	小糸のみ
123	セイト	2	-	11 × 12	6	土師器 2・須恵器 1・須川青釉鏡陶軽輪 1	不明	小糸のみ
124	セイト	2	円形	21 × 21	11	土師器 3	不明	小糸のみ
125	ビット	2	円形	37 × 37	11	先生 21・土師器 1・白磁 1・石鍋 1	不明	小糸のみ
126	SX	2	不規則	142 × 85	24	土師器 2	不明	小糸のみ
127	ビット	2	円形	38 × 28	13	土師器 7 ?	不明	小糸のみ
128	ビット	2	円形	29 × 23	22	土師器 3・須恵器片	不明	小糸のみ
129	溝	3	円形	600 × 80	95	土師器 53・須恵器 2・初期五	8世紀末～7世紀初頭	第17～19回
130	溝	3	円形	1193 × 134	58	須恵器 1・瓦器 1	不明	第17～19回
131	縦溝	3	円形	-	-	土師器 3・須恵器 1	不明	小糸のみ
132	縦溝	3	円形	-	-	土師器 3・須恵器 1	不明	小糸のみ
133	ビット	3	円形	22+ φ × 17	10	土師器 2・須恵器 2	古墳代	小糸のみ
134	-	-	-	-	-	丸窓	-	-
135	S807	3	円形	56 × 51	35	土師器 13・須恵器 1	不明	-
136	S802	3	円形	77 × 71	4	土師器 4・須恵器 5	不明	小糸のみ
137	S802	3	円形	66 × 52+ φ	18	-	不明	小糸のみ
138	S802	3	方形	60 × 48+ φ	37	土師器 4	不明	小糸のみ
139	S802	3	方形	48 × 48	18	先生 2・土師器 10	不明	小糸のみ
140	S801	2	円形	83 × 62	16	先生 2・土師器 3	不明	小糸のみ
141	S801	3	横溝 3 方形	87 × 54	25	土師器 5・須恵器 1	不明	小糸のみ
142	S801	3	円形	90 × 67	-	土師器 5	不明	小糸のみ
143	S801	3	円	100 × 92	30	土師器 46・須恵器 4・瓦器 2・白磁 1	不明	様式代 44cm
144	S801	3	方形	80 × 60	36	先生 7 ?・土師器 4・須恵器 1	不明	杜曲径 32
145	S801	3	横溝	85 × 56	11	-	不明	杜曲径 32cm
146	S801	3	横溝	136 × 80	35	先生 7 ?・土師器 30・須恵器 2・須川青釉陶器 1	不明	杜曲径 32cm
147	S801	3	円形	117 × 55	21	土師器 4・須恵器 8	不明	杜曲径 32cm
148	S801	3	横溝	84 × 55	37	-	不明	杜曲径 32cm
149	柱穴	3	横溝	56 × 52	-	土師器 4・須恵器 4	不明	小糸のみ
150	ビット	3	円	81 × 76+ φ	30	土師器 4	不明	小糸のみ
151	S803	3	円形	76 × 74	54	土師器 7 ?・須恵器 3	不明	小糸のみ
152	S802	3	円形	82 × 74	-	土師器 34・須恵器 8	不明	小糸のみ
153	S802	3	横溝	84 × 73	25	土師器 34・須恵器 8	不明	小糸のみ
154	S803	3	横溝 3 方形	97 × 60	39	土師器 14	不明	小糸のみ
155	S804	3	円形	60 × 50	25	土師器 7	不明	小糸のみ
156	S804	3	円形	50 × 50	35	先生 6 ?・土師器 1・須川青釉 1	不明	杜曲径 42cm
157	S804	3	円形	73 × 38+ φ	49	先生 6 ?・土師器 10・須川青釉 1	不明	小糸のみ
158	S804	3	円形	54 × 44+ φ	28	先生 6 ?・土師器 8・須川青釉 1	不明	小糸のみ
159	柱穴	3	横溝	93 × 65	30	土師器 3	不明	小糸のみ
160	柱穴	3	横溝	93 × 68	57	-	不明	小糸のみ
161	S801	3	円形	-	-	-	不明	杜曲径 32cm
162	S801	3	円形	60 × 51	41	土師器 4	不明	杜曲径 32cm
163	井穴	3	円形	37 × 33	23	土師器 4 ?・須恵器 1	不明	杜曲径 32cm
164	柱穴	3	円形	30 × 28	4	土師器 4 ?・須恵器 1	不明	杜曲径 32cm
165	柱穴	3	円形	24 × 20	6	土師器 3	不明	杜曲径 32cm
166	柱穴	3	円形	56 × 52	35	土師器 3	不明	杜曲径 32cm
167	ビット	3	円形	37 × 36	13	土師器 7 ?	不明	杜曲径 32cm
168	S801	3	円形	100 × 72	20	土師器 7 ?・須恵器 3	不明	杜曲径 32cm
169	S803	3	不規則四角	68 × 56	46	土師器 3 ?・須恵器 7	不明	杜曲径 32cm
170	柱穴	3	円形	40 × 41	17	土師器 3	不明	杜曲径 32cm
171	ビット	3	円形	24 × 24	17	先生 7 ?・土師器 4	不明	杜曲径 32cm
172	S801	3	円形	95 × 70+ φ	41	土師器 13 ?・須恵器 1	不明	杜曲径 32cm
173	ビット	3	円形	27 × 21	21	先生 7 ?・土師器 2 ?・須川青釉 2	不明	杜曲径 32cm
174	ビット	3	円形	24 × 22	10	先生 7 ?・土師器 15 ?・須川青釉 1	不明	杜曲径 32cm
175	ビット	3	円形	30 × 29+ φ	9	先生 1	不明	杜曲径 32cm
176	ビット	3	円形	19 × 19	7	土師器 3	不明	杜曲径 32cm
177	ビット	3	円形	24 × 24	23	土師器 6 ?・須川青釉 5	不明	杜曲径 32cm
178	ビット	3	円形	24 × 24	23	土師器 6 ?・須川青釉 5	不明	杜曲径 32cm
179	ビット	3	円形	26 × 18+ φ	3	土師器 1	不明	杜曲径 32cm
180	ビット	3	円形	30 × 27	30	先生 7 ?・土師器 10 ?・須川青釉 2 ?・白磁 1	不明	杜曲径 32cm
181	ビット	3	円形	29 × 29	29	-	不明	杜曲径 32cm
182	ビット	3	円形	20 × 20	17	土師器 6	不明	杜曲径 32cm
183	溝	3	円形	820 × 79	-	土師器 6 ?・須川青釉 18 ?・瓦器 6 ?・瓦 1 ?・石鍋 2	12世紀後半	小糸のみ
184	柱穴	3	円形	31 × 32	17	土師器 3	不明	杜曲径 32cm
185	柱穴	3	円形	22 × 23	13	土師器 7 ?・須川青釉 1	不明	杜曲径 32cm
186	ビット	3	円形	17 × 15	10	土師器 7 ?・須川青釉 1	不明	杜曲径 32cm
187	ビット	3	円形	24 × 24	25	土師器 1	不明	杜曲径 32cm
188	ビット	3	円形	26 × 26	21	先生 1	不明	杜曲径 32cm
189	ビット	3	円形	41 × 37	8	土師器 3	不明	杜曲径 32cm
190	ビット	3	円形	26 × 26	-	土師器 13 ?・須川青釉 8 ?・瓦洋 1	不明	杜曲径 32cm
191	柱穴	3	円形	36 × 34	25	-	不明	杜曲径 32cm
192	S805	3	円形	41 × 34	41	土師器 1	不明	杜曲径 32cm
193	縦溝	3	-	-	-	-	不明	杜曲径 32cm
194	ビット	3	円形	41 × 40	30	土師器 7 ?・須川青釉 1	不明	杜曲径 32cm
195	ビット	3	円形	29 × 24	31	-	不明	杜曲径 32cm
196	S805	3	円形	34 × 33	39	先生 7 ? ?・土師器 1	不明	杜曲径 32cm
197	柱穴	3	-	-	-	-	不明	杜曲径 32cm
198	セイト	3	円形	44 × 40	39	-	不明	杜曲径 32cm
199	溝	3	円形	171 × 48	18	須川青釉 2 ?・土師器 2	不明	杜曲径 32cm
200	ビット	3	円形	73 × 35	8	土師器 3 ?・須川青釉 2	不明	杜曲径 32cm
201	ビット	3	円形	57 × 42	10	土師器 4 ?・須川青釉 7 ?・瓦 1	不明	杜曲径 32cm
202	SC02	3	円形	54 × 52	10	土師器 8 ?・須川青釉 1	不明	杜曲径 32cm
203	ビット	3	円形	40 × 35	4	土師器 8 ?	不明	杜曲径 32cm
204	柱穴	3	円形	54 × 41	40	土師器 28 ?・須川青釉 7	不明	杜曲径 32cm
205	-	-	-	-	-	-	不明	杜曲径 32cm
206	ビット	3	不規則方形	54 × 44	39	土師器 24 ?・須川青釉 5	不明	杜曲径 32cm
207	SX	3	円形	115+ φ × 65+ φ	14	土師器 7	不明	杜曲径 32cm
208	SC02	3	円形	-	-	先生 7 ?・土師器 42 ?・須川青釉 12 ? ?・瓶 1	古代	杜曲径 32cm
209	ビット	3	円形	52 × 52	13	黒色系 5	不明	杜曲径 32cm
210	柱穴	3	円形	26 × 17	42	土師器 1 ?	不明	杜曲径 32cm

表3 遺構一覧表③

遺構番号	性格	区	形状	大きさ (cm)	深度 (cm)	出土遺物	時期	査定
211	柱穴	3	楕円	20 × 25	1	土師器 1	不明	小片のみ
212	柱穴	3	方形	64 × 39	22	-	不明	小片のみ
213	柱穴	3	椭円	24 × 20	7	土師器 1	不明	小片のみ
214	柱穴	3	円形	61 × 73+ a	38	劣生 1・土師器 2	不明	柱直径3cm
215	柱穴	3	円形	60 × 54	29	土師器 2	不明	柱直径7cm
216	椭円	3	-	-	-	陶器類(現代)・瓶	古墳時代	-
217	S801	3	円形	99 × 78	-	土師器 1	不明	小片のみ
218	-	-	-	-	-	土師器 1	不明	小片のみ
219	柱穴	3	円形	61 × 58	31	土師器 1	不明	柱直径22cm
220	ビット	3	円形	30 × 30	6	須恵器	不明	小片のみ
221	椭円	3	-	-	-	土師器 1	不明	小片のみ
222	S801	3	円形	98 × 81	-	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
223	ビット	3	円形	22 × 20+ a	24	須恵器 1	不明	小片のみ
224	丸窓	-	-	-	-	土師器 1	不明	-
225	柱穴	3	方形	48 × 40	25	劣生 1・須恵器 2	不明	小片のみ
226	ビット	3	円形	31 × 30	14	須恵器 1	不明	小片のみ
227	S804	3	円形	65 × 34+ a	48	土師器 4・須恵器 1	不明	小片のみ
228	ビット	3	円形	26 × 19	20	須恵器 1	不明	小片のみ
229	ビット	3	円形	21 × 21	-	-	不明	小片のみ
230 - 250 矢ヶ谷				230 - 250 矢ヶ谷		不明		
251	ビット	4	円形	44 × 44	25	土師器 4・須恵器 4	不明	小片のみ
252	柱穴	4	円形	50 × 60	33	土師器 20・須恵器 5	不明	小片のみ
253	ビット	4	円形	60 × 44	37	土師器 19・須恵器 8	不明	小片のみ
254	ビット	4	円形	27 × 20	8	土師器 2	不明	小片のみ
255	ビット	4	円形	30 × 25	3	土師器 1	不明	小片のみ
256	ビット	4	円形	44 × 36	44	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
257	ビット	4	円形	37 × 32	6	土師器 1	不明	小片のみ
258	ビット	4	円形	29 × 28	3	土師器 1	不明	小片のみ
259	圓	4	円形	140 × 46	-	土師器 4	不明	小片のみ
260	ビット	4	円形	44 × 36	6	劣生 1・土師器 5・須恵器 1	不明	小片のみ
261	圓	4	円形	130 × 40	-	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
262	ビット	4	円形	52 × 44	13	土師器 2・須恵器 4	不明	小片のみ
263	ビット	4	円形	220 × 128	13	土師器 20・須恵器多数・鏡輪 1・鏡薄 1	不明	小片のみ
264	柱穴	4	円形	72 × 64	13	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
265	ビット	4	円形	60 × 60	28	劣生 1・鏡 2・土師器 10・須恵器 2	不明	小片のみ
266	ビット	4	円形	26 × 22	60	土師器 3	不明	小片のみ
267	ビット	4	円形	23 × 23	-	土師器 1	不明	-
268	ビット	4	円形	39 × 29	29	土師器 1	不明	-
269	ビット	4	円形	24 × 32	37	土師器 1	不明	-
270	ビット	4	円形	44 × 37	-	土師器 1・土師器・高麗石小 1	6世紀末~7世紀初頭	小片のみ
271	ビット	4	円形	46 × 40+ a	42	土師器 6	不明	小片のみ
272	ビット	4	円形	46 × a × 24	8	土師器 8	不明	小片のみ
273	ビット	4	円形	51 × 28	2	須恵器 1・土師器 3	不明	小片のみ
274	ビット	4	円形	44 × 24	2	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
275	ビット	4	円形	60 × 56	70	土師器 5	不明	小片のみ
276	ビット	4	円形	65 × 52	15	劣生 2・土師器 5・須恵器 4	不明	小片のみ
277	ビット	4	円形	36 × 28+ a	39	土師器 7・3	不明	小片のみ
278	ビット	4	円形	46 × 48	36	土師器 7・5	不明	小片のみ
279	柱穴	4	円形	60 × 60	26	土師器 2・土師器 1	不明	小片のみ
280	ビット	4	円形	48 × 36+ a	31	土師器 1・須恵器 4	不明	小片のみ
281	ビット	4	円形	46 × 40	-	土師器 15・須恵器 4	5世紀前半	-
282	柱穴	4	円形	71 × 52	23	土師器 5・須恵器 7	不明	小片のみ
283	ビット	4	円形	42 × 40+ a	9	土師器 7	不明	小片のみ
284	ビット	4	円形	34 × 34	32	土師器 1	不明	小片のみ
285	ビット	4	円形	32 × 32	7	円筒形輪 1	不明	小片のみ
286	一般芋字	4	円形	-	-	-	不明	-
287	一般芋字	4	円形	-	-	-	不明	-
288	ビット	4	円形	34 × 26+ a	12	土師器 5	不明	小片のみ
289	SD	4	円形	1070 × 76	15-50	土師器 9	不明	小片のみ
290	ビット	4	円形	60 × 40	32	劣生 2・土師器 10・須恵器 1	不明	小片のみ
291	ビット	4	円形	40 × 28	9	劣生 2・土師器 9	不明	小片のみ
292	SC	4	円形	290 × 100	-	劣生 1・鏡 1・土師器 38・須恵器 13	不明	小片のみ
293	ビット	4	円形	60 × 48	33	土師器 19・須恵器 2	不明	小片のみ
294	ビット	4	円形	51 × 45+ a	23	土師器 1	不明	小片のみ
295	ビット	4	円形	33 × 33	13	土師器 3	不明	小片のみ
296	ビット	4	円形	29 × 24	21	土師器 2	不明	小片のみ
297	下段芋字	4	円形	-	-	土師器 24・須恵器 2	不明	小片のみ
298	ビット	4	円形	44 × 40	30	土師器 2・須恵器 3	不明	小片のみ
299	ビット	4	円形	36 × 20+ a	20	土師器 2	不明	小片のみ
300	ビット	4	円形	32 × 28	21	劣生 2 ?・土師器 2・須恵器 1	不明	小片のみ
301	ビット	4	円形	29 × 24	12	土師器 7・2	不明	小片のみ
302	ビット	4	円形	27 × 23	4	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
303	ビット	4	円形	40 × 36	20	土師器 4・須恵器 1	不明	小片のみ
304	ビット	4	円形	36 × a × 30	7	土師器 1	不明	小片のみ
305	ビット	4	円形	60 × 60	65	土師器 9	不明	小片のみ
306	ビット	4	円形	36 × 31	13	土師器 1	不明	小片のみ
307	ビット	4	円形	32 × 24	11	土師器 3・須恵器 1	不明	小片のみ
308	ビット	4	円形	52 × 20+ a	28	土師器 2	不明	小片のみ
309	ビット	4	方形	60 × 60	9	土師器 15・須恵器 4	不明	小片のみ
310	ビット	4	円形	55 × 40	-	土師器 1・須恵器 1	不明	小片のみ
311	ビット	4	円形	41 × 33	-	須恵器 1	不明	小片のみ
312	ビット	4	円形	36 × 17	7	土師器 1	不明	小片のみ
313	ビット	4	円形	32 × 12+ a	38	須恵器 1	不明	小片のみ
314	ビット	4	円形	24+ a × 16+ a	8	土師器 1	不明	小片のみ
315	ビット	2	円形	24 × 20	7	土師器 2・須恵器 1	不明	小片のみ
316	ビット	4	円形	32 × 23	土師器 2	不明	小片のみ	
317	ビット	4	椭円	31 × 15+ a	-	土師器 1	不明	小片のみ
318	ビット	2	円形	2.9 m × 2.9 m × 1.5 m + a	37	-	不明	-
319	ビット	2	円形	55 × 35+ a	4	-	不明	-
320	ビット	2	円形	40 × 32	4	-	不明	-
321	ビット	2	円形	54 × 36+ a	4	-	不明	-
322	ビット	2	円形	40 × 36	19	劣生 2 ?・土師器 6	不明	小片のみ
323	柱穴	3	円形	23 × 23	18	-	不明	-

PL.1



1) 1区完掘状況（東から）



2) 2区完掘状況（西から）



1) 3区完掘状況（西から）



2) 4区完掘状況（北から）



1) S C 026 検出状況（南西から）



2) S C 208 完掘状況（南東から）



3) S C 208 土層断面（南から）



4) S B 04 完掘状況（西から）



5) S B 01・02・03・04 完掘状況（西から）



6) S B 07 完掘状況（南西から）



7) S B 08・S A 01 完掘状況（南から）



8) S B 06 S P 019 根石検出状況（東から）



1) S B 01 P 163・146 土層断面（西から）



2) S B 01 P 145・148 土層断面（東から）



3) S B 129・130 検出状況（南から）



4) S D 183 検出状況（西から）



5) S D 016・017・018 検出状況（西から）



6) S D 238 検出状況（西から）



7) S D 0007 完掘状況（西から）



8) S D 129 土層断面（南から）



1) S D 130 土層断面（北から）



2) S D 007 土層断面（北から）



3) S D 018 土層断面（東から）



4) S D 017 土層断面（西から）



5) S T 109 検出状況（南から）



6) S T 093 検出状況（南東から）



7) S K 209 完掘状況（西から）



8) S K 209 土層断面（北から）



1) S P 281 検出状況 (北から)



2) S P 281 出土須恵器



3) SD007 遺物 1



4) SD007 遺物 5



5) SD129 遺物 8



6) SD130 遺物 12



7) SD130 遺物 13



8) SD130 遺物 16



9) SD130 遺物 15



10) SD017 遺物 1



11) SD018 遺物 18



12) SD018 遺物 19



13) SD018 遺物 21

報告書抄録

ふりがな	なか82							
書名	那珂82							
副書名	那珂遺跡群第174次調査の報告							
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第1393集							
編著者名	三浦悠葵							
編集機関	福岡市教育委員会							
所在地	〒810-8621 福岡市中央区天神1-8-1							
発行年月日	2020年3月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 m ²	発掘原因
那珂遺跡群	福岡市博多区那珂 6丁目 313-1, 314-1, 315-1, 316-1, 317-1, 318	市町村	遺跡番号			20180809 ～ 20190118	1,310	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
那珂遺跡群	集落	弥生時代・ 古代・中生	掘立柱建物 堅穴住居・ 土壙・溝	弥生土器・須恵器・土師器・瓦器・貿易陶磁器・瓦・石器・鉄器				
要約	<p>本調査地点は遺跡群の南端に位置しており、調査地北西側に近接する第37次調査地点では弥生時代早期の二重環濠などが検出された。</p> <p>今回の調査では溝、掘立柱建物、堅穴住居、貯藏穴、柱穴、土坑などを検出した。溝と掘立柱建物はその多くが真北を基準に地割を行い築造されている。遺構の時期は6世紀末から7世紀、12世紀の二時期に集中しており、その他に弥生時代から中世後期の遺構を検出した。遺物は弥生土器、甕棺、埴輪、土師器、須恵器、瓦器などがある。</p>							

那珂82

那珂遺跡群第174次調査の報告

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1393集

2020年（令和2年）3月25日

発行 福岡市教育委員会

福岡市中央区天神1丁目8番1

印刷 松古堂印刷（株）

福岡市西区河船寺3丁目28番1